

鬱憂病者謀殺未遂ノ鑑定例

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2017-10-04 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/2297/38108

十全會雜誌

第二十卷第六號(第百十三號) 大正四年六月一日發行

原著及實驗

●鬱憂病者謀殺未遂ノ鑑定例

松原三郎
石川精一

左例ハ生來ニ精神低能者ニシテ後チ神經衰弱症ヲ繼發シ更ニ或原因ニヨリテ鬱憂病ニ陥リ爲メニ其ノ妻ヲ殺害セントシテ遂ケザリシモノニシテ其年月。住所。場所。人名等ハ殊更ニ全部偽名ヲ附シタルモノナリトス

鑑定書

大正三年十一月十一日〇〇地方裁判所〇〇支部豫審庭ニ於テ豫審判事〇〇〇〇ハ裁判書記ノ立會ノ上余等兩名チシテ負田透殺人未遂被告事件ニ付キ左ノ事項ヲ鑑定スベキヲ命セリ

鑑定事項

被告負田透ハ其心神ニ異常ナキヤ
若シ異常アリトセバ其程度ハ心神耗弱者ナリヤ殊ニ大正三年十一月一日犯

罪當時ニ於ケル右被告透ノ心神狀態ハ如何

依テ余等兩人ハ大正三年十一月十一日ヨリ同年十二月十日ニ至ル三十日間

三回〇〇地方裁判所〇〇支部ニ出張シテ被告負田透ヲ診察シ且參考人及調

書ヲ參考シテ鑑定書ヲ作ルノ如シ

本鑑定ノ大綱ヲ示セバ

第壹章 事 歷

第貳章 既往歷

甲 遺傳歷

乙 被告既往歷

イ 生活史

ロ 既往病歷

ハ 犯罪前ノ狀態

第參章 現在狀態

甲 身体的現症

乙 精神的現症

第四章 說 明

第五章 鑑 定

第壹章 事 歷

被告加害者

石川縣河北郡津幡町二十六番地

平民戶主僧侶完應二男

男 僧侶 貢 田 透

明治二十一年十月十二日生

被害者

石川縣河北郡津幡町二十六番地

平民戶主僧侶完應二男貢田透内縁ノ妻

川 村 桑 子

明治二十八年月日不詳

石川縣河北郡津幡町二十四番地

平民戶主吉太郎長男

大工職 杉 江 投 治

三十歳

被告貢田透ハ大正三年十一月一日午前十時頃石川縣河北郡津幡町二十六番地現願寺内當時普請中ナリシ本堂ニ於テ建築用ノ斧ヲ以テ内縁ノ妻桑子ヲ切リツケ同時ニ透ヲ取オサヘン爲メニ驅ケ付ケタリシ大工職杉江投治ニモ傷ヲ負ハシメ遂ニ取押ヘラレテ〇〇監獄署〇〇支署未決監ニ収容セラレタリ

第貳章 既往歴

甲 遺傳歴

父完應ハ年齡五十九歳幼時ニ痘瘡ニカ、リ又脾瘕(俗ニ「ヒキヨ」ト云フ)ニカ、ル二十四歳ノトキ脚氣ニ侵サレ二十四五歳ノトキニ熱病ニカ、

リ二ヶ月モ臥床セリ爾來身軀弱ク爲メニ時トシテ具合アシキコトアリ淋疾梅毒等ノ花柳病ニカ、リシコトナシ飲酒ヲ好マズ時トシテ一合ヲ飲酒スルモ飲酒癖ナシ喫烟セズ魚類肉類等ニアタル(特異質ト云フ)コトナシ嗜好品ナシ(完應自述)

其性質ハ氣ノ弱キ方ナレハ小心ナラズ度量狭カラズ頑固ナルコトナク我儘ナラズ短氣ナルコトナク又氣暴キコトナシ交際ハ通常ニシテ根氣強キ方ナリ寺務ハ熱心ニシテ道樂トシテハ讀書ナリ(完應ノ後妻カキツ述)

大正三年十二月七日參考人トシテ召喚セシ時父完應ノ身体ヲ檢スルニ軀格通常營業ヤ、衰フ左眼外斜視(ヒガラ目)、又「ヤブニラミ」トモ俗稱ス)心臟ノ音通常ヨリ稍堅ク聽取シ且音清調ナラズ打診上左ノ境界ハ左ノ孔ヲ通過スル垂直線(即乳線)迄達シテ通常ノ境界ヨリ一横指大ナリ心音ノ不純ニシテ堅ク聽ユルハ心臟ノ内面稍硬化シテ粗造トナリシニヨル血管内ノ血液ノ壓力ハ百五十耗(ミリメートル)水銀柱ヲ壓シ上ケル壓力ニ相當ス外部ヨ

リ觸ル、ニ手首ノ拇指側ヲ走レル橈骨動脈ハ大キクシテ且ツ普通健康者ノ脈ヨリモ硬ク觸知ス脈膊ハ正調ニシテ一分間ニ平均六十四至ナリ即チ同人ハ動脈硬化症ニカ、リタルモノナリ其他胃及腸ノ弛緩症アリ

父完應ノ同胞五人アリ

一、男子 五十八歳腦充血ニテ急ニ死亡セリ飲酒時々三合ヲ傾ク其擧子三

四人アルモ別狀ナシ

二、父完應

三、女 目下五十五歳健全ニシテ性質ニ變リタル所ナシ擧子二人、中一人

ハ生後俗ニ云フ瘡ニテ死亡シ一人ハ健全ナリ

四、女 三十歳頃産後ニテ死亡ス擧子三人健全ナリ

五、女 三十歳頃ニシテ目下健在シ擧子ナシ

祖父 八十歳ニシテ老衰ニヨリ死亡セリ腦ノ疾患ニカ、リタルコトナシ、

飲酒ノ量一合位ナリキ、兄一人姉一人アリタルガ別狀ナカリシト云フ

祖母 六十歳餘ニシテ老衰病ニテ死亡シ頭痛。腦疾患ニカ、リシコトナシ

ト云フ同胞三人アリシカ共ニ異常ナク老衰ニテ世ヲ終レリ

曾祖父 七十四歳ニテ老衰病ニテ死亡ス飲酒ヲ好ミ毎日一合宛晩酌セリ短

氣ナラサリシト云フ

曾祖母 不詳

透ノ祖母方ノ曾祖父ハ不明ナリ

同上曾祖母 七十歳ニテ死亡セリ老衰病ニテ死亡ス性質等ニ異常ナカリシト云フ

透ノ實母ハ約三十歳ノ時肺結核ノ爲メニ死亡セリ同人ハ性質通常ニシテ人

並變リタルコトナカリキ

實母ハ兄一人アリ此兄ハ三十五歳頃肺核結ニテ死亡ス異常性質ナカリキ透

ノ父母間ハ血族結婚ニ非ラズ

實母方ノ祖父 七十二歳ニテ死亡シ飲酒セス又異常氣質ナシ老衰ノ爲メ

ニ倒ル、兄一人アリシカ死亡セリ他ハ詳ナラズ

母方ノ祖母 七十八歳ニテ死亡セリ風邪ニカ、リシガ原因トナリ漸次老衰

症併發シテ大正三年十月二十五日死亡セリ兄弟五人アレヒ一々詳ナラズ

目下七十二歳ニナル男子ガ二十二歳ノ時ニ勉強中ニ狂氣セルコトアリ

シト云フ

實母方ノ曾祖父母ノ事ハ不詳ナリ

透ノ同胞十人アリ左ニ列記セン

一、男子 七歳頃死亡ス

二、被告透

三、喜勝 明治二十四年六月四日生、飲酒一合餘短氣ナラズ學校ノ成績ハ

佳良ナリ

四、女 明治三十年六月九日生、性質異常ナシ成績ハ不良ナリ

以上ハ透ト同胞ナリ實母死亡後目下ノ繼母カキツ來リ嫁グ即第五子以下ハ

透ノ異母弟妹ナリ

五、女 明治三十三年六月二十日生、成績可良ナレヒ短氣ナリ

六、男 死亡

七、男 明治三十九年五月七日生、性質沈黙ノ方ナリ目下通學中ナリ

八、女 死亡

九、女 明治四十三年二月二十一日生、性質異常ナク伶俐ナル方ナリ

十、男 明治四十五年三月四日生ル疾病ナシ

此項中ニテ特記スベキハ事項ハ 一、母方ノ祖母ノ兄ガ一時的精神病ニ罹

リタルコト 二、父ノ兄ガ腦溢血ニテ死亡セルコト 三、實母ガ肺結核ニ

テ死シ身軀薄弱ナリシコトナリ

乙 既往歴

イ、生活史 貞田透ハ幼時ハ専ラ實父母ノ手ニヨリ養育セラレ殊ニ祖母ノ

寵愛ヲ受ケタリ七歳ニシテ津幡町尋常小學校ニ入學シ十六歳ノ時津幡高等

小學校ヲ卒業セリ此間ニ於テ九歳ノ時實母死亡ノ年ニ被告透ハ一度落第

セリ成績ハ不良ニテ透ノ好ムハ運動ト繪畫トニテ數學及暗記ヲ要スル學科
 ナ甚ダ好マサリキ、高等小學校ヲ卒業シテ後直ニ京都ニ趣キ眞宗中學ニ入
 學セリサレハ成績益不良トナリテ殊ニ數學ハ殆ド零點ニテ代數ノ成績ニ至
 リテハ最も甚ダシク最高點ヲ占メタルトキト雖モ二十―二十五點ナリシト
 云フ其他自己ノ專門タル宗教的學科モ理解シ難ク從テ成績ハ不良ナリキ、
 カクシテ眞宗中學ニ在學スルコト四ヶ年ナリシガ其間二度落第シ二學年ノ
 中途ニテ退學ノ止ムナキニ至リ明治四十一年頃カ二十一歳ノトキ歸郷セリ
 其後徵兵検査ニ應セシモ眼疾ト身躰ノ薄弱ナリシ爲メ不合格トナリタリ其
 後ハ神經衰弱症ノ爲メ保養旁父ヲ助ケ家業ニ從事シ居タリ明治四十三年開
 山親鸞聖人ノ六百五十回忌アリシ時京都ニ出テ高倉大學ニテ三月ヨリ五月
 ニ亘ル講習會ニ出席シテ無事卒業シ八月頃歸郷セリ爾後ハ全ク家ニアリテ
 安穩ニ日ヲ暮リタリ大正三年二月二十五日結婚ス夫婦間ハ和合シ不滿ノコ
 トナシト(被告透陳述)

父完應ノ見タル被告透

透ガ母体内ニ在ル間實母ハ些ノ疾病ヲ有セサリキ幼少ノ折齒ノ發生スル時
 期及歩行シ初ムル時期ハ通常兒ト同シク遲延セシコトナシサレハ夜間ニハ
 瘡カ出テ夜啼ス、此時期ヨリ躰弱ク殆ド藥攻メニテ育タテタリト
 學校ノ成績ハ不良ニテ智識ハ總テノ方面ガ愚鈍ナリサレハ學校へ行クヲ嫌
 フ事ナカリキ養育ハ重ニ實父母ニテ育テタルモ亦祖母ノ寵ヲ受ケタリ小學
 校ノ成績ハ惡シク性質小心ニテ心配シ易スク短氣ニシテ我儘ノ方ナリ他人
 トノ交際ハ通常ニテ中學時代暑中休暇ニ歸省セル時等ヨク他人ヲ訪問ス口
 數ハ通常ニテヨク談話ス輕卒ニテ物ニ驚キ易スク因循ニシテ人ノ集ル所ヘ

出ルヲ好マズ倦ミ易スクシテ熱心ナラズ物事ヲナスニ堪忍心ニ乏シク疑深
 ク金錢ヲ濫費セシコトナシ

人格ハ正直ニテ放蕩セシコトナク狡猾ナラズ同情心慈善心ハ人並ナリ仕事
 ハ怠惰ノ方ナリト趣味トシテハ植木盆栽ヲ愛スルノミニテ園藝ナドヲ弄ハ
 ズ酒色ニ耽リタルコトナシ性情ノ發育ニ就キテハ十五六歳ノ春期發動期ニ
 於テモ異常?ナカリキ、家庭上ノ關係ハ繼母ニ對シテ別段意存ナシ飲酒後
 性質變更スルコトナシ、平常凡帳面ニテ身ノ廻リモ整然タリ信仰心ハアリ
 ト云フ

繼母ノ見タル被告透

繼母がきつハ被告透ガ十一歳ノ時(カト思フ)ニ被告透ノ父完應ノ後妻トシ
 テ入嫁セリ此時既ニ透ハ談話時ニ吃リ居タリソレヨリ今日ニ至ル迄依然ト
 シテ増惡スルコトナク又輕快セン「モナシ性質瘡強キ方ニテ小心。内氣。
 ナリ心狭ク少シノ事ヲ苦ニシ腹立ち易スキ方ナリ我儘ナルコトナク氣ハオ
 ナツキガリタリ根氣ハ自分ノ事ヲナストキハヨケレハ他ノ場合ハ根氣ナシ
 疑深キ方ナリ正直ナレハ仕事ハ眞面目ナルコトモナシ金錢ヲ濫費セシコト
 ナシ道樂トシテハ草花ナリ人並ト變リシ所ト認メラル、ハ一概ナル人ニテ
 氣ハ小サク精短カキ人ナリ繼母がきつノ來リテヨリハ瘡ガコリシコトナシ
 酒ハ一合モ飲メバ甚ダ酔フ然レハ酒癖ナシト云フ

之レヲ要スルニ被告透ハ幼少時ニハ身躰弱ク時々夜啼シタルコトアリ且其
 ノ就學スルニ至リテ成績ハ甚タ惡シク小學校時代ニハ一度落第シ尙中學ノ
 科程ヲ修ムルニ至リテ二度落第シ遂ニ廢學ノ止ムナキニ至レリ兵役ハ眼疾
 及身躰薄弱ノ爲メニ不合格トナリ本年二月二十五日結婚ス結婚後夫婦ノ間

ハ和合シ仲悪シキコトナシ性質ハ因循ニシテ小心、心配シ易ク短氣ニシテ堪忍心ナシ猜疑心深シ。人格ハ正直ニシテ一概ナル方ニテ放蕩濫費等セシコトナシ、趣味トシテハ草花ヲ弄フ外他ニ趣味ナシ飲酒少量ナリ

□ 既往病歴

生來健全ナラズ幼少ノ時ヨリ服藥セリ父完應ノ言ニヨレバ小兒期ニハ身軀薄弱ニシテ藥攻メニシテ育テタリ十一歳頃ヨリカ別ニ近傍ニ吃ルモノナキニ吃ルト云フ眞宗中學ニ入學スルヤソレ以來腦病ニカ、リ且機械舛操中誤テ外傷ヲ受ケ其後健忘症ニ陥レリ又一年級ノトキニハ脚氣ニ罹リシコトアリ爾來神經衰弱症トシテ校醫ノ治ヲ受ケツ、授業ヲ受ケ居タリ學校ニ居タル間ハ時トシテ卒倒シタルコトモアリ記憶方漸次悪シク從テ成績モ不長トナリシカバ中途廢學ノ餘義ナキニ至リ歸郷シタリ歸郷後間モナク二十一歳ノトキ即チ明治四十一年十一月頃金澤病院外科第二部ニ於テ脱腸ノ手術ヲ受ケタリ他ニ疾病ヲ知ラズ

大正三年二月結婚後ノ眞田透

結婚ニ關シテハ既ニ祖母ノ親籍ノ娘ヲ娶ルトノ話透ト祖母トノ間ニアリタルモ桑子ト結婚後ハ格別前記ノ娘ニ對シテ何事モ語ラサリキ大正三年二月二十五日桑子ト結婚後二三日ニシテ桑子ハ透ニ精神異常アルコトヲ發見セリ即チ三月某所ニ透ハ佛事ヲ營ミテ歸宅後桑子ニ向ヒ「門徒ガ死ダ噂ノアリシ僧ガ死ナズニ尙生キテアルノカ」ト云ヒ「已チ惡口スル故ニ他地方ヘ行カネハナラヌ」ト云ヒテ其夜逃出シタルバ桑子ハ召使ト共ニ追從セシニ○
○迄行キ暫時ニシテ「狐カナイテ淋ミシイ」ト云ヒ歸リ來リシコトアリ又此頃透ハ桑子ニ向ヒ「透ハ世人ニ信用ナクオレ(透)ハ死メカラ御前(桑子)モ

共ニ死ンデ呉レ」トテ情死ヲセマリシコトアリ尙其後ニモ情死ヲセマリシ事一回アリシト云フ(桑子述)

四月十五日ヨリ三日間桑子ハ郷里ノ祭禮ノ爲メ歸郷シ居タルモ透ハ別狀ナカリキ(繼母かきつ)七月十三日弟喜勝ガ暑中休暇ニテ歸省シタルトキ兄透ニ向ヒ「只今歸リマシタ」ト挨拶セシモ「ツン」トシテ目ヲキヨロシシテアリシ故喜勝ハ透ガ精神ニ異常アルコトヲ氣ツキタリト其後喜勝ハ透ノ舉動ニ注意シ居タルニ從來透ガ事ヲ處理スルニ自己ノ考ニテ事ヲ行ヒタルニ其頃ハ人ト相談シテ何事モナス様ニナリタリト(喜勝述)又此頃繼母かきつハ透ガ學勤ヲ見テ「何ダカ狂ノ様ナ事ヲ云フテルネ」ト透ニ云ヒタルニ透ハ「私モ何ヤラオカシイ」ト云ヒタルコトモアリ(繼母かきつ)十二月七日述)其後七月二十七日頃透ハ土藏内ニテ自ラ鑿ヲ以テ己ノ喉ヲツキ洗面所ニテ喉ノ血ヲ洗ヒ居タル所ヲ常ニ同寺出入セル雇女ガ發見シテカクト繼母ニツゲタルバ繼母かきつハ驚キ急キ金原醫師ヲ迎ヘ一方弟喜勝ニ此旨ヲ通シ急ギ歸ラシメタリ(繼母かきつ)

金原醫師ハ急行傷口ノ手當ヲナシ何故ニ喉ヲツキタルヤト尋ネタルモ只笑ヒホルノミニテ事實ヲ語ラザリキ又此後金原醫師ハ現願寺ノ雇女ヨリ透ガ夜間縊死チ企テ又桑子ノ寢テアル首ヲ靜ニオサヘルコトアル由ヲ聞キタルバ透ガ喉チ突キタルハ必定精神異常ニヨルモノナラント服藥ナス、メタルモ規定通りニ服藥セズ一度ニ多量ヲ服シ又服藥セザルコトアリシト云フ此出來事アリテ後金原醫師ハ透ニ發病以來ノコトヲ書ガセタルガ透ハ二三行書キテハ引サキ且書キタルコトヲ直ニ忘レル爲カ讀返シテハ書キ容易ニ認メ得ズ最後二十行ホドカキタルニ「頭ガ痛イ、精神ガ亢奮スル、眠ラヌ」

等記載シアリシト云フ(醫師金原堅吉述)

其後繼母かきつハ何故ニ喉ヲ突キタルヤト尋ネタルニ「自分ヲ突イタノカ
知ランドーシテツイタカ知ラヌ」ト答ヘ弟喜勝ガ其理由ヲ聞キタルモ「喉
ヲツク氣ハナカツタガ一時クワツト上氣シテ斯様ニナツタ」ト答ヘタリ
ト云フ(調書)

尙此頃透ハ繼母かきづガ生腕豆ヲ莖ノ内ニ入レオキタルヲ繼母ノ止ムルヲ
キカズシテ二三日ノ間ニ二三合モ食シタリト常ニ逆上セルトキハ食欲進ミ
一日ニ四度モ食事シ又朝オキテ水ヲ多量ニ飲用スト云フ(繼母十二月七日
述)

透ハ桑子ガ實家ヘ歸リテ間モナク喜勝ニ向ヒ「桑子ハ再ビ歸リ來ラザルニ
非ラズヤ」ト云ヒタルコトアリ其後八月十日頃透ハ突然何處トモナク出奔
セシ故各方面ニ搜索シテ遂ニ發見セリ喜勝ハ此逃走ニ關シテハ金原醫師ガ
警察ト相談シテ証據物ヲトリ行キタルト信シテ恐怖シタル爲メナラント語
レリ桑子ガ歸リ來ル前日透ハ「明日歸ル」トノ報ヲ聞キ双手ヲ舉ゲ「之レハ
ウツイ桑子ハ七尾ノ警察ヲ逃ラレタ」ト云ヒ非常ニ喜ビタリ之レ桑子ガ七
尾裁判所ヘヒカレタルモノト考ヘタルナラント(喜勝述)

桑子ガ歸リ來リシ時ハ非常ニ喜ビ「一人助カツタ」ト云ヒ手ヲタ、キ喜
ビ居タリ此時繼母ハ何ガ助カツタト問ヒタルニ返事ヲ與ヘザリキ其後十日
程ノ間ニ自然ニ精神ノ亢奮ハオサマリタリト(繼母)

其他精神發揚セルトキハ桑子ニ向ヒ「己ハ信用ナク住職出來ヌ故何處カヘ
出發スルカラ用意セヨ」ト云フコトアリ又繼母かきつハ透ガ朝早クオキテ
小便ニ行キ裸休ノマ、ニテ爐邊ニ烟草ヲ喫スルヲ二回迄モ見タリト云フ

透ハ色情ノ事ニ關シテ淡泊ナナルガ幼時ヨリ猜疑心ノ心深キコトハ家内
一般ノ認ムル所ナリキ蓋シ桑子ハ時々番僧ヤ門徒衆ニ戯談ヲ云フ故透ハ之
レヲ心ニ懸ケ居リシ爲メ時ニハ桑子カ臺所ヘ行ケバ其後ニ附キ行キ追從セ
ルコトモアリキ(喜勝)

ハ 兇行數日前ノ狀況

本年十月二十五日午前四時頃祖母死亡セリ之レヨリ先祖母ガ病氣ニカ、リ
テヨリ透ハ最初ハ熱心ニ介抱シテ一旦治癒シタルモ老人ノ事トテ食物ニ注
意モセズ再ビ病氣トナリタリ然ルニ透ハ己ガ一旦治癒セシメタルモノヲ再
ビ病氣ニナリシモノ故介抱セヌト云ヒ居タリシガ同人ハ勿論介抱セシカド
以前ヨリハ熱心ナラザリキ介抱ハ主ニ桑子ト透ト喜勝三人ニテ代ル／＼之
ヲ勉メ爲ニ透ハ睡眠不足セリ而テ祖母死亡後透ノ神經衰弱ハ亢進シテ殆ト
精神錯亂ノ狀態ニアリ十月二十七日祖母ノ湯棺ノ時他ノ僧侶ト列席讀經ノ
中ニモ獨リ透ハ讀經セズ首ヲ傾ケテ居タリ桑子ガ此時如何ニセシヤト問ヒ
タルニ透ハ二三日前迄介抱シタ一人ガ此様ナ妻ニナツタト思ヘバ見テオレ
ヌト答タリ尙式後門徒ノモノニ透ハ非常ニ自分が失策セシヲ謝罪シ居タリ

(喜勝)

其後二階ニテ就眠シタルモ透ハ容易ニ鞭付キモセズ羽咋町ノモノガ自分ヲ
濱ヘ連レ行キ焼殺スト云フテオラカラ安心シテオラレヌ故出テ行クト云ヒ
出シ而シテ御前(桑子ヲ指ス)ハ罪ナキニコシテオクハ可愛ソーナトカ又
己ガコロサレネバ家内中ガ焼キ殺サレルト云ヒ居タリト

繼母かきつノ語ル所ヲ聞クニ透ノ祖母死亡セシ時「ク」トシタルモノカ眼
付ガカアリキヨロ／＼シテ居リタリ又立チタリシテ坐タレバ又去ル八月ノ

時ノ様ニナラネバヨイガト思ヒ居タリ死体ノ湯棺ノトキ目ナムキ目ヲ白クシ又目ヲ閉チタリ面白キコトヲナシテ讀經セリ次ギテ葬式ノ日讀經モスキテ行列ニ出ツルトキ雨ガフリ居タル故傘ヲ五本束ネテ縁ニ置キタルニ透ハソレチカヅキテ出掛ケタルバ繼母カきつハソレハ五本ナリト注意セシニ、「何ニ一本シカナイ」ト云ヒ尙其儘行方ントセシカバ「氣ヲ落付ケ見ヨ逆上セルニアラズヤ」ト云ヒタルニヨク見タル後「ソ」ト云ヒ其中ヨリ自己ノ所有ノ傘ヲ出シテ持チ行キタリ

其他精神異常者ノ如ク見ユル行動二三アリ即チ喜勝ノ語ル所ニヨレバ透ハ喜勝ニ對シ幾度トナリ家内中ノモノガ警察ヘ引カレ死刑ノ宣告ヲ受ケルト云ヒ喜勝ハ其事實ナラザルヲ悟スモ更ニ聞キ入レズ然ラバ如何ニシテカク考フルカト尋ヌルモ答ヘズ其儘立去ル有様ナリキ稀ニハ透ガ逃走スレバ家内ノモノ、命ガ助カルト云ヒタルコトモアリト

乘子ノ述べタル所ヲ見ルニ日中外出スルヲ厭ヒ終ニ入浴セス「タオル」ヲサゲテ入浴ニ出掛ケナガラ入浴セズシテ歸リ魚屋ガ理願寺ノ新佛ハ馬鹿デアルト云フタトテ歸リ來リシコトアリ又アルトキハ入浴ニ出掛ケナガラ湯札ナカリシ故ニ乘子ハ湯錢トシテ二錢ヲ渡シタルニ「錢等イラヌ」ト云ヒ投ゲ出シタルコトモアリ

兎行前日及當日透ノ状態

十月三十一日午後四時頃ヨリ精神ニ異常ヲ來シキヨロシテ居タリ此時乘子ハ透ガ精神異常アルト思ヒシ故午後十時頃乘子ハ透ト二階ノ座敷ニ於テ睡ニツクシ所透ハ寢タカト思ヘバ間モナク飛び起キテ「只今ヨシテオラレナイ津幡町ノ住民ガ自分ヲ燒キ殺スト云フテオル故生キナガラ燒殺ス

ハアツカロー」ト云ヒ「ソレテハ行クガ」ト云ヘバ又「時間ガ早イ」ト云フテ床ノ中ニ入り又一時間バカリニテ飛び起キ是非自分ガ行カサレバ乘子透殺サレルナリ從テ自分ガ行カネバナラヌト云フテ階下ヘ降りテハ昇リ、昇リテハ降り七八回モ繰返シタリ而シテ今夜盜人ガ入りテ御前(乘子)ノ衣服ヲ盜ミ行キ下ニ一枚棄テアリト云フ如キ有様ニテ夜ヲ徹シタリ(乘子述)

實弟喜勝ノ言ニヨレバ又十一月三十一日喜勝ハ座敷ニ於テ大工杉江投治ト共ニ新聞ヲ見テ居タル所ヘ透ハ十回程往復シ何トナク舉動落付カズ家内中ノモノガ切り殺サレテ全滅スルカラ共ニ何處方ヘ逃ケ出スゾ」ト云ヒ金槌ヲダズサエ居タルバ喜勝ハ「左様ナコトハナイ」ト悟シタルモ聞キ入レズ猶右ノ袂ニ鎗ヲ入レ左ノ袂ニ木箱ヲ入レテ持チガリシ故喜勝ハ其理由ヲ尋ネタルニ「母カラ殺ス」ト云ヒタリ警察ノ手ニヨリ「家内ガ全滅スルヨリモ自分ノ手ニテ家内ヲ殺ス」ト云タリ故ニ喜勝ハ爐ノ傍ニ行キ母ニ對シ透ノ様子カカカシキ故「婦人連ハ一團トナリオラネバナラヌト」云ヒタリト後透ハ私等アル室ニ來リ「逃ケヨ」ト云ヒテ聞キ入レズ何程制止スルモ聞キ入レザリシガ何處ヘカタ方逃ケ出シタル故杉江投治ト伴僧ト喜勝ト三名ニテ

〇〇ノ崖ト云フ所迄行キ透ノ居タルヲ發見シテ透ヲ供ヒ歸リタリ(喜勝述)又父ノ語ル所ニヨレバ三十一日ノ日ニハ寺ヲ出テ行クト云ヒ出シタル故菓子ヤ茶ヲ飲マシテダマシ夜寢方シタルモ夜幾度トナクオキ出掛ケントシテ殆ド不眠ナリキ(父ヨリ聽取十二月七日)

カクシテ被告透ハ十一月一日午前五時頃オキ出テ(乘子陳述)六時頃未ダ薄暗キ間ニ繼母尙就床中傍ニ來リ繼母ガ先キニ病死セル祖母ノ布團ノ綿ヲ半襟ニテ縛リタルモノヲ次ノ間ノ風呂棚ノ傍ニオキタルヲ指シ透ハ「ソコニ

座テアル御方ニ御案内シマシヨ一カ」ト云ヒシカバ繼母ハ「ソレハ綿デア
ル」ト答ヘタルニ氣付キタルモノカ「ソ」カト云ヒ笑ヒツ、「烟草ヲク
ト云ヒタル故「烟草ハナイ」ト答ヘタルニ二階ノ方ヘ行キタリ(繼母述及十
二月七日聽取)

又父ノ就眠申其枕元ヘ來リ「之レニテ御暇タイタ、キマスト云ヒタルモ」父
ハ何心ナク其マ、應ヘモセサリキ(十二月七日父完應ヨリ聽取)

其後桑子ガ爐邊ニ行キタルニ階下ニアリタル繼母カきつノ羽織ヲタ、ミア
リシモノヲ丸メテワキニ挿ミ桑子ニ對シ「之レヲ借用シテマイリマス」ト言
葉ヲ更メテ云ヒタルニ說教所ノ婆サン來リテ「左様ナコトヲ云フテハイカ
メ」ト云ヒタル故ニ羽織ヲ元ノ所ニオキウロ／＼トシテ居タリ(桑子述)

午前八時頃繼母ハ「腕豆餅及柿ヲ食ベヌカ」トテ傍ヲ通りカ、リシ透ニ云ヒ
タルモ耳ニ入レズ「エラノ髻ニナリタルナ」ト言ヒタルモ耳ニ入ラズ二階
ノ方ヤ座敷ノ方ヲウロ／＼歩キマワリタリ(繼母十二月七日述)

其後弟喜勝ガ上櫃ノ間ニ行キ大工ノ仕事ヲ見テ居タリシ所ヘ透ハ二回程來
リテ「父ハトード一燒キ殺サレテシモータカラコロシテ居ラヌ」トテウロ
／＼其邊ヲアルキ居リシカバ喜勝ハ「決シテカ、ルコトナシ」ト云ヒタルモ
聽キ入レザリキ尙喜勝ガ爐ノ邊ニテ兄夫婦ト共ニ茶ヲ入レテ飲ミ居タルガ
一同立チ去リタル後透ハ喜勝ノ傍ニ來リシガ此時透ノ目付ト云ヒ舉動ト云
ヒ喜勝ニハ異様ニ思ヒタレバ甚タ心モトナク桑子ヲ呼ビ喜勝ハ自分ノモチ
居タル柿ノ半分ヲ二分シ其一ツヲ手ニノセテ兄ニ食セシメントシタルモ透
ハ「父ガ燒キ殺サレタルニ左様ナ柿等ヲ食フコトガ出來ルカト云ヒ金鎖ヲ
以テ柿ヲ打タントセシ故手ヲヒキ込ミタリ(喜勝述)

尙大工岸川孝吉ノ言ニヨレバ透ハ孝吉等ノ仕事シタル所ヘ來リ茫然トシテ
歩イテ居タリ孝吉カ鑿ヲトギアルトキニ同輩大工林品三郎ハ透ガ着サメテ
茫然タルヲ見テ孝吉ニ透ハ病氣ガゴコツテアルニアラズヤ何ダカカカシイ
ト云ヒ居タリ(大工岸川孝吉)

ソレヨリ透ハ己室ノ方ヘ行キ桑子ハ茶ヲ入レテ呼ビニ行キタルニ座敷ノス
ミノ所ニテシキリニ長キ手紙ヲ書キ居タルカ桑子ガ來リシト見ルヤ袂ノ中
ニ入レタルニヨリ桑子ハ何ヲ書キ居ルヤト云ヒタルニ「後カラ御前ニ見セ
テヤル」ト云ヒ尙二三回問ヒタルニ「御前ノ様ナモノハ殺サレルナ」ト云ヒ
居タリ(桑子)其手紙ハ次ノ如シ。

遺書 一

山田律之。同默堂ミキヤボ一シテ一家を全滅致シ茲に死亡ニ當リテ書遺
致シ置キマシカラよろしく警置置ル御手紙を以テ御依頼申上ます

頁 田 透

一家ヲ全滅致シタルハ吾ガ繼母ミ律之との謀リにして今日の有様ナリ誠
に病氣の爲め衰弱によりて今日の殘念なる有様なり又今日の朝に致
りて明白より茲に示スよろしく

警置置によるしく御定り下れ度し御依頼申上候

常行寺一門ハ事情ハ少々し心中にハ知りませんから御依頼申上候

津幡警置置御中

遺書 二、

山田律之同默堂私の繼母ミ三人にてキヤボ一致シテ今日の有様ナリ誠に
私一家に取りてハ少も知りませんからよろしく御取り成し被下度候此の

理由ハ一家の品物を私しか盗みし事にて其事情ハたしか私しの真寫ゴ一
 ポンの書面もあります其れを持致致し居る誠覺さ存じ申ます其事實先日
 より種々座敷より繼母と其他ハ存じ申さぬが見受ル所ハ眞事なり
 直し事証ナリ眞ル正シ候也

カクシテ其後午前十時頃「剃刀ガナイカ。何處へ行ツタカ、ムシロヤツツ
 ケテシマオーカ」ト獨語シテ居タリシカバ糸子ハ危險ニ思ヒテ後堂ノ横ノ
 通路カラ本堂ニ行キ杉江投治ノ仕事チナシアル所ニテ「刀物ナドハカクシ
 テカイテクレ」ト注意シテ上壇ノ間ノ前チ束ノ方ニ行キタルニ上壇ノ間ノ
 向テ右ノ方ヨリ透カ出テ來リ其所ニアリシ斧ヲトリ上ケ糸子ニ向テ振り上
 ゲタル顔糸子ノ目ニハ只事ニ非ズ全ク切ル勢ニ見エタレバ驚キ投治ノ方ヘ
 逃ゲタルニ透ハ何モ云ハズ糸子ノ後チ追ヒ右ノ肩ヲ切りツケタリ糸子ハ其
 場ニタオレ其儘人事不省トナリタリ(糸子陳述)同時ニ杉江投治ハ驅付ケ透
 ナ取ガサヘントセシ機ニ斧ニテ頂部チ切ラレシモ尙屈セズ取ガサヘントシ
 テ居タルニ又右ノ肩ヲ切りツケラレタリ(大工杉江投治述)

其中皆ノモノニ取ガサヘラレ座敷ニツレ行カレ其所ニテ烟草チ喫シ茫然ト
 シテアリキ

兎行ノ翌日津幡警察署ヨリ〇〇監獄支部へ傳送セラレントシテ停車場ニ進
 ムヤ其途中ニ於テ無意味ニ逃走テ企テタルモ而カモ遠ク逃亡セントスルニ
 モ非ズ只タ自己ノ住宅内ニ歸ラントシテ宅地内ニ逃亡シ再ビ無難作ニ捕ヘ
 ラレタリ

第三章 現在症

甲 身體の現症

体格中等榮養稍不良皮下脂肪ニ乏シ稍貧血ス身長五尺一寸八分、頭蓋顔面、
 耳等身體的變質徵候ナシ但口蓋、上アゴハ通常ヨリ深く陥沒ス齶齒右側上
 顎二本下顎二本、左側下顎二本アリ頭蓋ヲ測定スルニ「センチメートル」
 (一「センチメートル」ハ我尺度ノ三分三厘ニ相當ス)ヲ以テスレバ左ノ如シ

頭 圍	五三	耳前頭圍	二七、三	耳顯頭圍	三七、二
前後徑	一八	耳孔徑	一一	耳鼻棘徑	一一、七
橫徑示數		鼻根後頭圍	三一、二	耳後頭圍	二二、七
耳下頭圍	二七、三	左右徑	一四	額骨突起徑	一一、三
耳 高	一三、二	長中短顛			

ナリ舌チ呈出セシムルニ舌輕度ノ白色苔狀物(舌苔ト云フ)ヲ被リ舌輕度ニ
 振顫ス諸種ノ反射機能ヲ檢スルニ眼ノ黑玉ノ部分(角膜)チ軟キ綿ヲ捻リ其
 尖端ヲ以テ觸ル、ニ通常人ニ於ケルガ如ク反射運動オコリ眼球ハ上外方ニ
 引キ上ケラル然モ通常人ヨリ稍過敏ノ方ナリ又口内上顎ノ後方ニ懸垂セル
 肉樣突起物(懸攤垂ト云フ)ニ紙チオリタルモノニテ觸ルニ通常人ノ如ク反
 射性ニ此突起物ハ上方ニ引ケラル尙進テ其後方囁頭ト稱スル場所ノ後壁ニ
 觸ル、ニ同シク通常人ノ如クカルキ反射性嘔吐運動ヲオコス即チ此三反射
 ハ通常人ト異ル所ナシ此反射消失スルトキ又ハ過度ニ亢進スル時ハロステ
 リー症ノ特徵ナリ然レドモ被告透ハ通常人ト同シ又諸處ノ筋肉チ打診鏈チ
 以テ打ツトキハ健康人ト雖モアル一定度迄反射性ニ其肉ガ收縮ス之レヲ筋
 肉ノ器械的亢奮性ト云フ透ニ於テモ筋肉ノ器械的亢奮性ハ通常ノ程度ナリ
 又肘チ少シマゲテ其外側チ打診鏈ニテ打ツトキハ反射性ニ直ニ前膊ガ伸展
 ス之レチ肘反射ト云フ此反射ハ透ニ於テハ通常人ヨリ強度ニ亢進シ甚ダシ

ク強激シ伸展運動チナス、又膝關節チ少シク曲ケ關節ノ前方チ打診錘ニテ打ツニ下脚ハ前方ヘアル程度迄突ビ出ツ此反射運動チ膝蓋腱反射ト云フ透ハ此反射極度ニ亢進ス之レ等三反射ガ亢進ル場合ハ脊髓ノ或ル疾病又ハ腦ノ或ル器質的疾疾ノ外神經衰弱症ニ最モ固有ニテ其反射ノ強弱ニヨリテ神經衰弱症ノ強弱ヲ定メ得ルナリ、脈膊ハ平均八十至内外、脈勢弱クシテ軟カク脈ヲ檢スルトキ檢者ノ手チ以テ僅カノ壓力ヲ加フルモ血管ヲ壓シツブスナ得血管内ノ血液ノ壓力即チ血壓ト云フ(血液ハ心臟ヨリ一定ノ壓力ヲ以テ血管内ニ壓出サレ血管ハ一時廣カリ彈力ノ作用ニテ收縮セントスル故血液ハ一定ノ壓力ヲ保チテ血管内チ稍々流ル、モノニテ通常健康人ハ水銀柱ヲ百二十「ミリメートル」壓シ上グル力ト相當ス)ハ水銀柱ヲ八十「ミリメートル」壓シ上グル力ト相當シ健康人ノ百二十「ミリメートル」ノ水銀柱ヲ壓シ上グル力ニ比シテ非常ニ力弱シ此血壓ノ下降スルハ主ニ貧血、衰弱、等ニ伴フ現象ニテ殊ニ神經衰弱チ有スル者ハアル一定ノ條件ヲ除キテハ必ス血壓方下降スルヲ常トス

胸部稍扁平ニシテ聽診スルニ只右ノ肺尖ニ當ル部分即チ右肩、頸部ノ右横前ノ凹陷部鎖骨上高ニテ呼吸ヲ延長シテ聽取シ得通常健康ノ場合ニハ多クハ吸氣時ニハ一種ノ音ヲ聽取シ得ルモ呼吸氣時ニハ聽カザルヲ常トス呼吸氣ノ延長シテ聽取シ得ル場合ハ最モ多ク肺尖加多兒症ニ在リ。打診上肺及心臟ノ境界ハ通常。心臟モ異常ナシ腹部内臟胃腸等ニモ疾病ヲ認メズ

大正三年三月九日初診、當時ノ記錄ヲ見ニ

河北郡津幡町

僧侶 頁 田 透(二十七歳)

既往症 生來健ナラズ寒冒ニ懼リ易スシ十一年程前ニ脚氣ヲ患フ十年前ヨリ頭内朦朧記憶力減退睡眠不良ニテ神經衰弱症ノ治ヲ受ケ五年前ニ左側ノヘルニヤノ手術ヲナセリ。先(二月二十五日結婚セリ)元來家庭ノ圓滿ヲ希望シタルニ結婚後希望ノ如クナラズ失望セリ其後稍沈鬱煩悶ニ傾キ嗜眠狀トナリ甚シク小心トナリ逆上ス肺患ヲオソル全身倦怠アリ

食慾通常便通通常睡眠可良、喫烟スレドモ飲酒ハ時トシテ三合、二十五歳ノトキ梅毒ニカ、ル

現 症

体格通常榮養不良皮下脂肪少ナシ貧血ス齒列通常齶齒四本、角膜懸垂垂咽頭ノ反射通常筋肉器械的亢奮性通常肘反射通常膝蓋反射亢進脈膊小ニシテ軟ク正調ナリ一分時内ニ八〇至。血壓九〇「ミリメートル」瞳孔ノ形及反應通常ナリ舌苔アリ胸部扁平心臟異常ナシ肺ハ右肺尖呼吸延長ス頸腺腫脹ナシ右肘腺腫脹ス、ヒルケ反應輕度ニ陽性ナリ檢尿スルニ蛋白質、糖分等ノ病的物ナシ檢便セシニ虫卵ヲ發見セズ

診 斷 精神變質性神經衰弱症

乙 精神的現症

被告透ハ姿態顔面ノ表情ハ通常ニシテ動作ニ秩序アリ談話スルニ吃語ニテ稍要領ヲ得ザルコトアルモ意識ハ明瞭ニシテ何事モ完全ニ領解シ得、妄覺妄想等ナシ自ラ何レカ体ノ具合惡シト思フ病覺、及腦ガアルイト思フ病識アリ

又病覺病識共ニ存ス(病覺トハ己ガ何ダカ病氣ニ懼ツテオタル様ニ思フ感ツ病識トハ己ガ何カ腦ノ疾病ヲ患ヒツ、アルト云フ感ツ)

今被告透ニ付キ問答ニヨリテ得タル検査成績ヲ舉ケレバ

一、被告透ハ月日、所在地周圍ノ事物ニ付キテ如何ニ之レヲ辨別シヨク指南シ得ルヤヲ檢セシニ(大正三年十一月十一日)

問 名前ハ何ト云ヒマスカ

答 頁田 透

問 職業ハ

答 ……職業ハ……僧侶

問 年齢ハ

答 ……年テスカ 年ガ二十 一寸マツテ下サイ頭ガ……二十七?頭

ガ二十一コミ入ツテスグコタヘラレヌ

問 住所ハ

答 津幡町

問 津幡町ノ何番地?

答 番地ハシツカリ記憶シテオラス覺エテ居ル時モアレトモ……

問 今年ノ年號ハ

答 年號ハオボヘマセヌ

問 知ツテルテシヨ

答 大正二年カ三年テシヨ

問 大正二年カ三年カ何レカ

答 大正三年テスカ

問 何月ノ何日テスカ

答 日ハ覺ヘマセヌ

問 何月カ

答 何日カシラヌ

問 何曜カ

答 何曜モワカラヌ

問 此處ハ何所カ

答 役所テス

答 何處ノ何ト云フ役所カ

答 此處ハ……監獄署

問 何處ノ監獄署カ

答 ○○ノ監獄署テス

問 私ハ誰レカ

答 知ラヌ

問 私ハ何人カ何ノ爲メニ來タカ

答 存シマセヌ

問 アソコニ居タ人ハ何カ

答 何トカオシヤイマス

問 其人ノ職業ハ何カ

答 監守テス

問 此處ノ家ハ監獄カ裁判所テナキカ

答 監獄署テシヨ

之レニヨリテ見ルニ被告本人ハ自己ノ存在スル場所ヲ認識スルコト精明ナルモ尙ヨク時ヲ明確ニ認識セズ之レ健忘ノ爲メニ時日ヲ領解シオラサル故

ナリ

二、次ニ記憶力ニ關シ調査セシ所ヲ列記セバ

小學校時代ノ記憶

問 學校ヘハ何歳ニテ入りシヤ

答 小學校ヘハ七歳ニシテ津幡ノ小學校ニ入り高等小學校ヲ十七歳カ十六

歳カノ時ニ卒業セリ小學校ニテ實母ノ死亡セシ時ニ落第セリ

問 其小學校時代ノ校長ノ名ヲ記憶シ居ルヤ

答 校長ノ名ハ一番初メニハ知ラヌ二番目ニハ尋常小學校ハ忘レタリ、三

番目ハ知ラヌ

問 受持教員ハ如何

答 先生ノ名ハ自分ノ記憶シテアルハ○○○(女)○○○某

問 高等小學校アハ校長ノ名ハ何ト云ヒシカ又受持先生ノ名ハ

答 高等小學校長ハ△△△△ニテ受持ノ先生ハ□□□□、及△△某、◎◎

某アス

中學時代及其後ノ記憶

問 中學校ニ入りシハ何時カ

答 小學校ヲ卒ヘテ眞宗中學ニ入り。三十六、七年ノ頃ニテ、京都ニ居リ

シハ落第シテハ四年居リ二度落第シ二年級ニテ退校セリ二年失敗スル

ト出サレルトニナル此時代ニ脚氣ニカ、リ又神經衰弱ニモ罹リ居タリ

問 頭ニ傷ツキタルコトナキカ

答 此時代ニ器械体操カラ落チタル記憶アリ他ハ知ラズ

問 病氣ガオコルト如何ナルカ

答 頭ガ「グー」トシテ來テ前後ジカラヌ様ニナリマス

問 一番初メニ「グー」トシタ時ニハ如何シテオコリシヤ

答 學校時代ニ起リタリ

問 中學校ノ何年位ヨリ起リシヤ

答 中學校ヘ入學スルナリデシタ

問 何歳ナリシヤ

答 十六カ七デシタト思フ

問 「グー」トスルコトハ常ニアルカ

答 始終家ニアルトキハアリマス何度モ氣ヲ靜メラレヌコトモアリマス

問 卒倒セルコトナキヤ

答 中學校ニアリシ時負田ト云ワレシ時卒倒セシコトアリ

問 「燒キ殺ス」ト云フ様ナ悪口ガ聞ユル様ニナリシハ何時頃カラナリヤ

答 本年ノ春頃カト思フ

問 昨年ハ何事モナカリシヤ

答 昨年中ニモナイテモナカツタローガ自分ニ記憶シテ居ラヌ故ニワカリ

マセヌ

問 怡度人が戯談ヲ云フテモ、モ直様實際トシテ考フコンナ失敗ヲシタル

ト思フ

問 鉢ニ病氣アリト思フハ何時頃ヨリナリシカ

答 中學校ヘ行キテカラアリマスガトリワケアルハ桑子ガ來テ結婚後直様

デアリマス金澤ニ行キシ時結婚後五日―三日ニ行キタリト思ヒマス

問 自分デ多少病氣ト思フ所ハ

答 腦ガ「ボー」トヤツテ來テソ！スルト眩暈ガキテ其時ニ現象ガ呈スル此
時又物ヲモアレバソレテ何氣ナク持チテ何カスルト云フ様ナリニナル
問 ドンナ時ニ「ボー」トスルカ

答 自分テ座ツテ居テモ「クー」トシテ專ラ何ガアツテモタ、キコワシタキ
氣ニナツテ來ル氣ニクワヌコトガナクテモソ！ナルコトガアル話シテ
居テモ自然ソ！ナツテ來ルコトモアル

問 「クー」トシテ來ルトキニ何カ見えヌカ
答 チラツイテ見ヘルト云フコトハオホエヌケレトモ頭カ充血シテ何カ止
メラレテモ自分ノ思フコトヲナシ狂氣ノ様ニナル

監獄ニ居テモ頭ガ「クー」トナツテ來テ出シテクレト云ヒマス
問 「クー」トシテ來ルト物が聞エルカ又「クー」トセナイトキデモキコエル
カ

答 「クー」トヤルト自分テ自分ガスルノデシヨト思フ自分テ考ヘテオ
コトガ聞エテクルノデアロ……落付イテオルトキニオコラヌサレド
モ私ハ陰鬱ナル故ニ自然ニ物ヲ考ヘテ來ル何シタコト又云フタコトヲ
忘レタリ前後シタリシテドモナラン恰度云フト人様ニ預タモノヲ其儘
ニシタリ云フンナラヌコトヲ忘却シタリスル

問 ソンナ「クー」トスルコトハ度々オコルカ
答 日ニ一回位ハ何處ニ居リテモ起リマス
問 獄中テモアリマスカ

答 アリマス
問 「クー」トスルトキニ自分ノ身軀ニ傷ツケルコトナキヤ

答 アリマス、頭ヲ自然的ニ柱ニ打チツケルコトヲヤリ止メラレタコトモ
アリマス此トキニハ自分カ沈ミテ鬱々トシテ「イヤ！」ニナツテ來ル
問 今迄「クー」トシタトキニ何ンナコトヲシタカ

答 自分テ自分ガ兇器ヲ以テ死ニカ、リシコトアリ
問 其時ニ切リツケシカ
答 其時ハ記憶セザルモ家ニアルトキハ頭デモ打チツケテ歩ルクカラワカ
ラヌ

問 前後ガ分ラヌコトハ何時間ホドツクカ
答 大抵ハ長キハ三十分、四十分短キハ其時ニ人ガ止メルトキハ何分カ
ハヤク

問 ドー云フ時間ガ多キカ
答 日中ガ一番ニ多シ及ビ極暑イ時此頃ハ十時！十二時、午後二時頃カ一
番多シ

問 食事ニ關係ナキヤ
答 此トキハ食事が進ミ何程デモヤリマス

問 休ノ具合ト關係ナキカ
答 ソレハシツカリ覺ナキモ寒氣アルバオコリマスシ
今デモ頭ガ「ボー」トスルト敲キタクナル、ヒツコキ事ヲ尋ネラレルト

「何カ」ト云フ氣ガオコリマス
問 起リシトキハ睡眠ト關係ナキヤ
答 關係ナシ時ニヨリテアルコトモアレドモ一時不覺トナリシ後デモ人カ
仲裁シテ落付ケバ睡眠ハ防ゲラレズ

問 夢ト關係ナキカ

答 夢ハ平常ミテ夢ミテ驚クコトアリ多夢トナル其夢ハ馬ニ追ハレテヌケ
ラレヌコトヤ船ニノリテ居テ其「ボート」ガトクズリカヘル夢ヤ人ト口
論シテ負ケテ勸忍シテクレト謝スル夢モアリ其中多クアルハ馬ニボッ
レル夢多シ

桑子ト結婚後ノ記憶

問 桑子ト結婚後〇〇ヘ法事ニ行キシニ門徒力氣ニ合ヌコトヲ云フタカ

答 何モ云フヌ

問 門徒ノモノカ死ヌ答ノ僧カ死ナズニハルカト云フタカラ此様ナ所ハイ

ヤニナツタノテ夜中ニ飛び起キタコトアルカ

答 〇〇デハ無事ニ務メテ來タ頭ハ悪イカラ讀經ハ何ヲ讀ンダカワカラヌ

間 違モナカリシツモリナリ、今ドーカ記憶シマセヌ

問 左様ナ事ナシト悟シタレドモ聞入レズ外出セシ故妻モ妻ノ附添ニ來タ

リシモノモ一所ニツイテ△△ニ來タリシニ狐ガナイテ淋シイト云ヒ歸

リタリト云フガ記憶アリヤ

答 オホエナシ狐ガナイタト云フコトハ何デシヨ一何月頃デシタカソ一テ

シタカ記憶アリマセヌ

問 湯ニ入ル事ヲ好マヌカ

答 嫌ヒニアラズ

問 湯ニ入ル爲メニ手拭チサゲテ出ナカラ湯ニ入ラズ魚屋ガ現願寺ノ新佛

ガ馬鹿ニナツタト云ヒタリト湯ニ入ラズシテカヘリシコトアリヤ

答 オホエナシ、湯ニ入リタクナイ時モアリマス

二錢銅貨ヲ桑子ガ母ニモラツテ錢湯ヘ行キナサイト云フタ時ニ「錢ナ
シカイラヌ」ト云ヒテ錢ヲ投ゲタルコトアリヤ

答 オホエナシ

問 汝ノ妻ハ結婚後何度ホド實家ニカヘリシヤ

答 二回カト思フ初メハ三月頃祭ノトキニ一晩カ二晩(事實ハ四月十五日
ヨリ十八日迄三晩)二度目ハ七月頃カ(正)ト思フ

問 何日程カ

答 三十日程モ行ツテ來タト思フ(事實ハ五十日程ナリ)一番「チヨ一ハイ」
ダトテ長クナリタ其ノ間ニ氣ガ狂フタ事ハ毎々アリキ

問 其時ニ妻ハ歸ラヌト思フテ自殺セシニアラサルカ

答 其時ハドーテシタカ

問 大工ノ鑿ニテ喉ヲ突カザリシカ

答 其時ハ自分ノ氣力違フテ居タ故ニ何カ爲シタノテシヨ一厭世家ニナツ

テ自分デ何カシタデシヨ一

問 何ノ爲メニ喉ヲ突キタルカ

答 モ一テ歩イタ故ニ(胸骨ノ上端一寸五分ノ所ニ長サ五分餘ノ横ニ畫ケ
ル痕アリ)今回桑子ノ罪ミ無キモノヲ傷ツケタト同ジク我身カ沈鬱

テイヤニナリシ觀念デアリタリ

問 次デドーシタカ誰レカ止メタカ桑子ハ家ニアリシカ

答 桑子ハ居リシカ居ラザリシカ覺エナシ

問 桑子ハ實家ニ歸リテ居ラザリシト云フニアラズヤ

答 ソーダツタカ知ラヌ

問 桑子カ歸ラザリシチ心配セシヤ

答 心配セシヤモ知レヌ

問 傷ツケタ後ニドーシタ

答 自分テ繃帶シテオイタ

問 醫ニカ、ラサリシカ

答 ドーモ覺エナシ

問 金原醫師ニ來診チ乞ヒシニアラズヤ

答 覺エアリマセンナ

問 桑子ニ情死チセマリシヤ

答 覺エゴザリマセヌ

問 桑子ト共ニ夜寢テオル片ニ急ニガキ上リ津幡中ノ人が來テ自分チ燒キ殺スト云ヒシコトアルカ

答 ソー云フコトハ時々アリマシタ

問 死セント思フテ長キ手紙ヲ書キシコトアリヤ

答 何モ知リマセヌ

問 何時カ自殺シニカ、リシ事アリヤ

答 オホエナキモソレハ自分カ自然ト一般ノ方カ自分ノコトチ惡ク云フ故

ニ之レチ信シテ死ナントシタ何月頃デアリシカ知ラヌ

問 其時桑子ハ家ニアリシヤドトデシタカ妻カ家ニカヘリシ時ナラサリシカ

答 オホエナシ

問 何チ以テ死ニカ、リシカ

答 オホエナイデス

問 家ハ盜人入りテ着物チ盜ンテ縁ノ下ニ脱捨テアルト云ヒタルカ

答 ソンナコトハ無イデス

問 平素自分カツマラヌ故ニ妻ト一所ニ死ナント云フ心アリシカ

答 ソンナコトハナイデス

ソレハ自分カ氣カクルウテドーユーコトチシテモソー云フ觀念ハ少シモアリマセヌ

問 自分ノ妻ト仲惡シキコトナキカ

答 別ニ私ノ方ハソー云フコトハナシ

問 桑子ト何人ト話セルトキニ嫉妬心チオコセシコトアリシカ

答 ソー云フコトハオホエザルモ嫉妬心ト云フコトハアリマセヌ長ラクノ

問 ナレバ記憶セサレドモ

祖母病氣及死亡前後ノ記憶

問 祖母ハ何病ナリシカ

答 病氣ハ何デシタカ知リマセヌ

問 何日モ臥テ居タリシヤ

答 大分ワルカリキ

問 何處ノ病ナリシカ肺カ。腦カ。

答 老病デシヨ!

問 祖母ハ何日ニ死シタルヤ

答 何日デシタカ十月ノ二十五六日カト思フ

問 ソレガ爲メニ氣落シタルコトアリシヤ

問 少シ洗ンダテシヨ一
答 睡ラズニ介抱セシヤ

問 恰ド徹夜セシ故。三十日モ床ニ入ラザリシ故ニ睡眠ハ不足セシナラン
答 汝ノ祖母ノ死セシ時湯棺ノ時ニ僧方來リシ時ニ讀經ヲヤメテ列ヲハズ
シ閉目シテ頭ヲ振リシコトアリシヤ

問 記憶シマセヌ頭ハ平常ニテモ振リマス湯棺ノ時ハ如何シテ居タカ記憶
シマセヌ
答 兇行前及當日ノ記憶

問 糸子ヲ切りシハ何日ナリシヤ
答 サ一今カラ二十日モタツテシヨ一

問 何月ノ何日ナリシカ
答 今月ノ月初メカ先月ノ末カト思フ確ナコトハ今月ノ初メカト思フ

問 其前晚ハ如何シテアリシカ
答 前晚ハ睡眠セヌト云フテモ可ナリデシタ何時デモ「フワリ」ト起キタト
云フコトヲ記憶シテオリマス

問 何故眠レザリシカ、物方聽ヘタカ
答 恰度其時釜ノ中ニ入ツテカハ様ニ(濱ノコト云フテカハノカ)思ハレ何
トナク自分ハ變動シテオリ晚ニハ讀經ノ聲カ度々聞エヌ様ニ考ヘラレ
タ自分方躊躇シテ居タ

問 其他焼殺サレル様ナコトガ聞エタカ
答 人が云フタカ知ラヌガ焼キ殺サレル様ニ思フテ居タ

問 二階ニ昇リタリ降りタリシテ居タカ
答 二階ニ昇リタリ降りタリシテ居タカ

問 其時ニド一シテ居タカ覺ナキモ廻テ居タル自分ハ大キイ松ノ木ニ釣上
ガラレテ下カラ火ヲツケラレタ様ナ氣ニナリテ居タリ

問 其トキニ泥棒ガ來リテ糸子ノ衣服ヲトリシカ
答 ソンナコトハ云フタカ知ラヌカ覺ガアリマセヌ

問 其日ノ朝何時ニオキタカ
答 七時カ八時カ平常ヨリ早カリシト思フ平素ハ八九時乃至十時ニオキル
オキテ小便ニ行キマタ早イト思ヒ床ニツキシト思フソレカラオキテ臺
所ニ行キ烟草ヲ喫ミ其時ニハ家ノモノ母サンカ小兒ニ小便ヲサシテカ
ツタ母ニ話ヲセズシテ母カ小便サシテ床ノ中ニ入ラレタカト思ヒ自分
一人臺所ニ居タルニ暫クシテ總勢ガ來リシト思フ

問 弟喜勝ハド一シテ在リシカ
答 離屋ニ父ト共ニ床中ニアリ其日ハ爐ノ所ニ居ラナカツタト思フ

問 弟カ柿ヲクグレタトキ敲キ落シ今ソソナ所デナイ「大バラヤ」ト云ヒタル
トノ事ナルガ記憶アリヤ
答 ソレハ昨晚ヨリソソナ状態ニナツテ居ル故ニ又大工ガカンカンヤツテ
居ル故ニ神經ニサワリテ焼殺サル、様ニ思テ居タト見エ柿トラナイト
云フテ居タト思フ

問 ソレカラ次ニハ
答 ソレカラシバラク居リテ本堂ノ所ニ行キシカ座敷ニ行キシカ何レヘカ
行ツタデシヨ一

問 座敷テ手紙ヲ書イテ居ツタニアラザリシカ
答 先達判事ニ聞イテハシメテソ一云フモノヲ書イタカト思テ居マス何テ

問 座敷テ手紙ヲ書イテ居ツタニアラザリシカ
答 先達判事ニ聞イテハシメテソ一云フモノヲ書イタカト思テ居マス何テ

書イタカ覺エナシ

問 然シ何ノコトニツイテ書イタカ

答 焼殺サレルカラ一家が全滅スル故ニソソナコトヲモ書イタロート思テ

居リマス

問 其時ニ糸子ハ來リシヤ

答 ソーデスネソソ云ハバ一度ハイツタカモ知レマセヌ確ニオホヘマセヌ

ケレトモ

問 糸子カ何ヲ云フタカ

答 シリマセヌ

問 糸子カ何ヲ書イテオルカ見セヨト云ハサリシカ

答 ドーシタカオホヘナシ柿ヲ敲キツケタ以來ハシリマセヌ

問 其座敷テ糸子ト話セシカ

答 シリマセヌ

問 見セテヤルト云ハナシタカ

答 ソレハシリマセヌ

問 剃刀ハ何處ニアルト聞タカ

答 ソレハドーデシタカネードカオホヘマセヌ前ノ日ハ自分がモーターテア

ルイテ何カ刃物ヲモアレバト思ヒテ勝手ノ方ヘモーターアルキマシタ其

時ハ何ヲシタノカ記憶シマセヌ

問 ソレカラ何處ヘ行キシカ

答 ソレカラドーナリシカ知ラズ

問 本堂ニ行キタカ

答 本堂ヘ行キシカ、柿ヲタ、イタコトハ覺エテオル

問 本堂ヘ何ノ爲ニ行キシカ

答 本堂ヘ仕事ヲモ見ニ行キシナラン其時分葬式が先月ノ二十幾日ヲシタ

カアリシ故ニ一日ヨリ大工方入りシナリ

問 鉞ガ何處ニアリシカ

答 其時ニモーターアルキシ其時ニマサカリカアリシナラン夫テ以テドーシ

タカラカリマセヌ

問 本堂ノ出口ニ突キ出シニカ、リソレヨリ上檀ノ方ヘモドリシ様ニ思フ

トビ出シ走リモーターアルイタコトカキオクシオルナリ切りシカ何レカ

ドー云フ譯テ振上ケタコトカオボエナシ

問 一家ヲ全滅セルト云フハ何人カ

答 ソレガワカラヌデス自分テ考ヘテ見ルトカ、ル状態ニアル爲ニ自分が

病氣ノ爲メニ一家が全滅スルト、今ヨリ考ヘテ見ルノテ其時ハ何ト思

フタカラカラヌ

問 自分が殺サレナケレバ自分ノ家内ノモノガ皆殺サレルト思フタカ

答 ソソナコトハ覺エマセヌ

問 十一月一日ニ爐ニアタリ傍ニアリシ母ノ羽織ヲ丸メテ之レチカリテ行

クト云ヒシニ説教所ノ婆サンガソソナツマラヌ事ヲシテイカヌト云ヒ

タルニ羽織ヲ置キテウロ／＼シテ茶ヲノミタル後本堂ノ裏ノ居間ニ行

キ押入ノ所ニテ長キ手紙ヲカイテ居タカラ妻ガ何ヲカイテオルト云ヒ

シニ後カラ見セテヤルト云ヒ「剃刀ナキカ」ト云ヒ「ドコヘ行ツタシラ

ン」ト自語セリトノ事ナキヤ

答 アツタカ無ツタカ此ノ間裁判所ニ來リ調ヘラレタトキニ此物ヲ書キシ

カト云ワレタトキニ書イタカオホヘナキモカワリ書イタデシヨ

問 妻ヲ殺セシハ何時頃ナリシカ

答 アレガ何時頃デシタカ日中ナリシカト思フ

問 午前午後カ

答 ドーデシタカ午前デシタカシツカリオホエナシ

問 其日何ヲシテ居タカ

答 其日朝カラ四方八方自分ノ家ヲモ一テアルイテ居タ

問 何ノ爲メニ

答 一般ノ人がタスカルトカタスカラント云フコトヲ云フ徵役ニ行クト云

フテ居タ私ヲ燒殺シテヤルト云フテ居タ自分がモ一テ歩イタカラ云ワ

レタガ又ハ聞ヘタカラモ一テ歩イタガ自分ニハワカラヌ其間ニド一カ

爲タデシヨ

問 燒殺スト誰ガ云フタ

答 誰カワカラヌガソ一聞エタ

問 知タ人カ知ラヌ人カ

答 知ツタ人カ知ラヌ人カ今存シマセヌ自分ノ精神ガ沈ンデシマツテ前後

ヲ辨ヘナカツタデス辨ヘテ居ルトメツタ惡イ事ヲセヌデシヨ

問 男ノ聲カ女ノ聲カ

答 其時ニハオホエナシ

問 右カ左ノ耳カ何レノ耳カラ聞ヘタ

答 タソ一ナツテ聞ヘタ

問 ソ一思フタカ其様ニホントニ聞ヘタカ

答 自分ニ思フテオホカソ一思タカ聞ヘタノカワカラヌ私力ノハ人カ何ヲ

云フテモ惡口ヲ云フトル様ニ思ハレソレガ本統ノ事實トナリ現ハル

聞キテ見レハ何テモナイデシヨ一ケレドモ

兇行當時ノ記憶

問 一体兇行ヲシタノハ午前ノ十時頃デナキカ

答 ソ一云フコトハワカラヌハジメテ刃物等ヲ先達テ見セラレテソ一云フ

事ガアツタカト思フタ次第デス

問 此トキニ大工ニモ傷ツケシニアラズヤ

答 此時ハド一シタモノカワカラヌ

問 此話ヲキ、テモ記憶ハ出ヌカ

答 ソレハ確カ……ヤハリ刃物ヲ握テ歩イタトスレハ何シタモノデシヨ

問 其時ニ大工ハ何人オリシカ

答 其頃ハ五六人モハイリテ居リシガ其日カラ入りシ故何人カワカラヌ

問 何ト云フ大工オリシカ記憶シテオホカ

答 ソ一デスネオホエノアルノハ杉江デモオリシカト思フソレダケデアト

ハ今ド一モシツカリワカラヌ

問 杉江ニ傷ツケシニ非ズヤ

答 ソレハツケタカツケヌカ覺エマセヌ

問 桑子ト大工ノ杉江ト話セルヲ嫉妬心ノ爲メニ傷ツケシニアラズヤ

答 ソンナ事ハアリマセヌ話ハドンナ話シテオツタカ知ラヌトニハ云フタ

カ云ワヌカシラヌガソ一云フ事ハナシ

問 本堂ニ行キシハ乗子が先方汝が先方

答 其点方サ一私が臺所ニ先ニオツタダロト思フガ……………

問 乗子ハ何シニ來タリシカ

答 ソレハ知ラヌ

問 乗子ノ鉢ヨリ血ノ出タコトヲ覺ヘテオルダロ

答 何モシリマセヌ

問 大勢ノモノガ取押ヘタコトハ知ラヌカ

答 ソレハ知ツテル

私ヲ座敷ニヒツパツテ若イ人カ私ヲオサヘタハ何人カ杉江ガオツタ事

ハオホヘテオル座敷ニ行ツタ事ハオホヘアリ何人程アリシカモオホヘ

ナシ

問 其後乗子ハド一シタカ

答 何モ知ラヌ

問 本堂ノ何レノ邊ニテ爲シタルカ

答 ドノアタリカ何モオホエナシ

問 大工ハシバラク中止シテ其日カラ來タカ

答 ソ一様ニ私ハ云ヒマシタ……………カシツカリオホヘマセヌ私前ノ

日モキリノモ一テ歩イテ居タカラワカラヌ

問 切ツタトキニ乗子ハ何ト云フタカ

答 タオレタカ何方云フタカ血が出タカ知りマセヌ

問 何人がトリオサヘタカ

答 自分デハ大工ガ取押ヘタロ一何人ナルヤ當座デモアツタラド一カ知タ

ガ知リマセヌ

問 喜勝ハ如何シテ居リシカ

答 喜勝ハ居リシヤ否カ知りマセヌ

兇行後ノ記憶

問 ソレカラ警察ニ引カレタカ

答 ソレカラ座敷ニ行キ其所ニ座リ「ボカン」トシテオリ、ソレヨリ臺所ニ

行キシモノカ警察カラ引張リテ行レタモノデシヨ一監獄ニ來リ「ハツ」

ト氣ガ付キ此所ニ何シニ來タカト思ヒタリ

問 警察カラ逃グテ來タラザリシカ

答 其トキハ氣ガソ一云フ風ナリシ故ニ亂暴チナシタカモ知レマセヌ

問 津幡ノ警察ニ幾日オリシヤ

答 一晚カ二晩カ此所へ來テ覺ヘガ付イタ位ダカラ津幡テ亂暴チナシカ逃

ケタカド一シタカ一晚デシタデシヨ一

問 警察テ變リシ事ナカリシヤ

答 津幡ノ警察デコノ衣服ガ裂テオル所ガ此所デナケレバ津幡ノ警察テ亂

暴チシタカモシレヌ

問 何時ノ瀧車テ來タリシヤ

答 何番ナリシカ

問 午前カ午後カ

答 知ラヌ道中デ私ハ之レカラ何處ヘ行クガヤラト考ヘタルコトアリ、裁

判所へ來リシコトモ明ナラズ何レニ來タカト尋ネタレトモ我身テ惡イ

コトチシタカラ斯様ナ所へ來リタルナラント云ワレタリ

之レヲ要スルニ被告透ノ記憶ハ平常ノ場合ハ兎モ角著明ノ事項例ヘバ自殺企圖ノ場合。又最近ニ祖母葬式ノ時精神異常行爲アリシコト殊ニ兇行ノ前日ヨリ兇行ノ當日ハ殆ト夢中ニテ前後ヲ辨別セズ從テ記憶ハ殆ド存セザルモノ、如ク事實ハ入監後種々ノ尋問ニヨリテ大抵ノ内容ヲ知りタル如シ尙透ハ桑子、繼母かきつ、伴僧〇〇〇〇ニ對シテ豫テヨリ惡意ヲ有シ居タルニ非ラザルヤヲ調査セシニ

問 兼ネ、自分ガ死スル時ニ桑子モ死ナムト思ヒ居リシカ

答 ソンナコトハアリマセヌ、一般ノ人が仲ガ惡イト云フテオラレルカ知ラネド自分ハ桑子ニモ云フテオルガ頭ガワルイ爲ニ其時ニ應ジテ何デモ云フカラ精神ニ狂イガアルカモ知レヌカラソ、思フテ居テクレト云フテ居リマシタ

問 御前ノ家ヲ全滅セシメントスルハ伴僧〇〇〇〇ト繼母トデセシニアラズヤ

答 ソレハ如何デスカソノトキニソ、考ヘタモノカドーデスカ
問 平常ソ、思テ居ルダロ

答 ソ、テス自分テ邪推ガ其時ノ迷ヒカ書イテアル所ヲ見レバドーデスカ
ラカカラヌ

問 桑子ニ情死ヲセマリシカ

答 ソレハオホヘマセシネ
問 伴僧ト繼母ガ御前ヲ嫌テオルカ嫡子ニセナイカ
答 ソンナ事ハナイデシヨ、ケレドモ其トキニ燒殺ニサレルト思ダノデソ
ンナコトテモ思フダノデシヨ、

問 繼母ト仲惡シキカ

答 正直ニ云ヘバ仲ガ惡イト云フコトモアリマセヌ

問 衝突セルコトアリシカ

答 長ラクノ間デシタカブドーデシタカ自分ハ獸テアルデスカ
伴僧トハ

問 伴僧トハ

答 ダマツテオル爲ニワカリマセヌ

問 汝ノ門徒ガ汝ヲ排拆セントセシカ

答 サ、ソレハソレニ就テ考ヘテオルガワカリマセヌ私ガ神經ト云フテオカシ、デスガ讀經ノトキニ繰返シタリアトモドリシタリスル爲ニ眞面目ニ行カヌ故ニ自分テソ、思フテオルデシヨ、

問 門徒ガ來ルト何方考ヘシニアラズヤ

答 門徒ノ者ガ來ルト私ガ矛盾シタコトヲ云フ故ニ何方私ノコトヲ云フテ居ルノテナキカト思フ、アルトキ某寺ニ行キ、自分等ノ寺ノ格トシテ又個人トシテモスラヌ所ヘ行キテ座ツテ大笑シタコトアリカ、ル時ハ自分テ自分ノ氣デナイト思フタコトアリ之レハ知ツテヤルニアラズ知ラヌテ居テ斯様ナコトヲシル後テ其寺ノ隱居サンニ惡イコトヲシタト云フテアヤマリタルコトアリ

問 桑子ガ門徒ノモノト話スルト嫉妬ヲオコスカ

答 門徒ノモノガ笑話ヲ云フコトアリムタムタニナリテオル故ニ桑子ノ肩ヲタ、ク其トキニ笑話云フテシヨ、我ハ前後ムタムタニナルト何デモ生氣デ云フタコトテモ云フデシヨ、

問 妻ガ何人ニ通シテオルト考ヘタルカ

答 別ニソソナコトヲ考ヘマセヌ人が笑話デモ

問 何テソ一思ハズカ

答 桑子ハ淡泊ニテ活潑デ私ハ卑ナル故ニ女ヨリモ氣ガ弱イト云フテ勢ナ

付ケラレタコトアル爲ニ斯ク思ハヌ

問 母親ガ自分ヲキラヒテ伴僧トカ相談シテ排拆シテオホルヲシイト妻ニ云

ヒタルカ

答 憶ヘマセン

問 母トノ仲ガ悪シキカ

答 悪クナキモ自分ガグマツテオホル故ニ

之レニヨリテ見ルニ透ハ妻桑子ニ對シテハ別段嫉妬心ナクヨク和合シ居タ

リ繼母ニ對シテ不滿ノ念慮ナキガ如キモ性質因循ニテアマリ人ニ語ヲ交ヘ

ズ只猜疑心強キ爲メニ或ハ繼母ガ伴僧ト癡嫡スルト邪推シタルコトアリシ

時モアリシガ如シ

尙透ガ教育ノ程度及ビ其常識ノ程度ヲ検査セシニ

問 教育勅語ヲ拜誦セヨ

答 朕惟フニ我皇祖皇宗……ヨク臣民孝ニ忠ニ……イヤ待ツテ下サイ、朕

惟フニ我皇祖皇宗……國ヲ肇ムルコト宏遠ニシテ……父母ニ孝ニ兄弟

ニ(イヤ待テ下サイ)國ヲ肇ムルコト宏遠ニシテ德ヲ立ツルコト深厚ナ

リ、父母ニ兄ニ友ニ……イヤモ一忘レマシタ

問 十二支ハ

答 子。丑。寅。卯。辰。巳。○。未。申。酉。戌。亥。(午)ヲ落ス

問 一週間ノ曜日ハ

答 月。火。水。木。金。土。(日ヲ落ス)

問 冬至ハ

答 知ラヌ聞イテハオリマスガ

問 彼岸ハ

答 我々ノ方デハ知ラナケオバナラヌノデスガ忘レマシタ

尙次ノ文章ヲ讀ミ且釋解セシムルニ

臨床醫學叢書ハ、實地醫家ノ參考ニ資スルタメ、臨床上、必須ナル項目

ヲ選ビ西洋及ビ本邦專門學者ノ實驗及論說ヲ輯メ、コレヲ綜括シテ、當

該問題ニ關スル軌近ノ狀態ヲ示スヲ趣旨トス

右ノ文中讀方ニ於テハ「資スル」、「必須」。「綜括軌近」ヲ讀ミ得ズ「輯メ」ヲ

オサメト讀ミ修養ト解ス、又「醫家當該問題」ヲ解シ得ズ「趣旨」ヲ「モト」ト

解釋ス、勿論全躰ニ於テ大凡如何ナル意味ナルヤヲ解シ得ズ

一、動植物ニ關シテ被告ガ如何程ノ常識ヲ有スルヤヲ檢スルニ左ノ如シ

問 能登ニアル木ハ何が多キカ

答 松、杉

問 畑ニ作ルハ

答 大根、蕪菁、豌豆、蠶豆

問 魚ハ

答 津幡ニハ鰻、川鼠頭魚、鯛、鰯、蛤

繪畫ヲ示シテ其名ヲ問ヒ其花ノ咲ク時節ヲ質問シタルニ

問 朝顔ハ

答 朝顔カ六月ニ花ガ咲ク

問 蓮ハ

答 薔薇カ蓮デスカ六月頃ニ花咲ク

問 菖蒲ハ

答 「カキツ」カ菖蒲ナリ何月頃ニ花ガサクカ知ラヌ

問 紫陽花

答 シラヌ

問 百合

答 百合デナイデスカ三四月頃ニ花ガ咲ク (不正)

問 木蓮ハ

答 シラヌ

問 水仙

答 水仙、春位、二三月ニ花ガ咲クアタ、カイガ水仙ハ寒イ時デス

問 菊

答 菊ハ、モ一ハヤ過キタテシヨ一未ダ咲イテ居リマスケレドモ

問 藤ハ何時頃サクカ

答 藤ハ五六月

問 珊瑚樹ハ

答 珊瑚樹ノ様ナモノデス、サンゴハ海ニアリ何所邊ニアルカ

問 玉蜀黍ハ

答 「ト一キビ」デス、「ト一キビ」ハ何月頃食スルカ知ラヌ、五六月デナイ

問 デスカ

問 麥ハ何時種子ヲ播クカ

答 二年カ、ルモノデスモ一種播ハ過キテオル

問 何月ニ刈ルカ

答 五月頃ニ刈ル

地理的検査

問 石川縣ノ大ナル町ハ

答 七尾、金澤、羽咋、輪島、松任。大聖寺ナリ

問 小松ハ知ラヌカ

答 聞キシコトアリ金石モキ、シコトアリ

問 七尾ヨリ金澤迄ノ停車場ノ名ハ

答 七尾、長川、徳田、金丸、千路、羽咋、寶達、宇ノ氣、本津幡、津幡、

金澤、

問 尙京都ノ方ニ向フテハ如何ナル停車場アリヤ

答 金澤、松任、小松、大聖寺、福井、大土呂、鯖江、敦賀、米原、石山、

馬場、京都

問 米原ヨリ東京ノ方面ヘハ如何ナル停車場アリヤ

答 東京ノ方面ヘハ一度行キシノミナレバワカラヌガ名古屋、横濱

問 越中方面ヘハ

答 津幡ヲ乘リカヘ石動、福岡、俱利伽羅、高岡

問 石川縣ノ高キ山ハ

答 白山、寶達山

問 石川縣ノ大ナル川ハ

答 浅野川カ犀川

問 日本デ大ナル都會ノ名ハ

答 東京、大阪、京都、横浜、名古屋、神戸、新潟、金澤、富山、高岡

問 世界デ大ナル町ノ名ハ

答 英國ロンドン、ニューヨーク(國ハ知ラズ)佛蘭西ノ色里、獨逸ハ知ラ

ヌ、「ロシヤ」セントペートルスブルグ、支那ノ北京

問 東京ノ人口ハ何程アリヤ

答 確ナラズ大約百万位

問 金澤ノ人口ハ何程ナリヤ

答 七八万―十万

問 京都ノ人口ハ何程ナリヤ

答 四十万位

問 日本ノ大ナル山

答 新ガタ山(臺灣)富士山

問 富士山ノ高サハ何程ナリヤ

答 一万尺以上アリ

問 世界ノ高キ山ハ何山ナリヤ

答 ヒマラヤ山テ位置ハ知ラヌ

問 日本ノ大ナル川ハ何川ナルカ

答 淀川ナリ位置ハ知ラズ

問 世界デ大ナル川ハ何川ナルカ

答 知ラズ
問 此附近ノ名所ハ

答 和倉、加賀ノ蟋蟀橋

問 日本ノ景色ノ好キ所ハ何處カ

答 京都

問 日本三景ハ何處カ

答 天ノ橋立(周防ノ錦帯橋)天ノ橋立、巖島(所知ラズ)

歴史的觀念

問 三種ノ神器ハ

答 ヤタノ鏡、瓊玉、劍

問 徳川家康ハ何チナセシカ

答 徳川ノ元祖ナリ一家ノ政事ヲトリタリ太閤ニ代リテ

問 太閤ノ先ハ何人ナリシカ

答 織田信長

問 其前ハ

答 オホヘヌ

問 頼山陽ハ何者カ

答 學者ナリ

問 何チ書キシカ

答 詩チカキタリ

問 本チ書キタルカ

答 十八史畧チ書キタリ

問 頼山陽ハ何地ノ人カ支那カ日本カ

問 馬琴ト云フ人が居リシカ

答 知ラズ

問 明治ニナツテノ戰爭ハ

答 明治七年朝鮮征伐、……二十七八年ハ日清戰爭、三十三年ノ北清事件

二十七八年ノ日露戰爭、三十七八年デス

問 西郷ノ戰ハ聞キタルカ、何時ナリシヤ

答 明治、天草ノ亂ト云フコトガアル七年カ十年デス

問 如何ナル理由テオコリタルカ原因如何

答 原因デスカアレハ西郷サンガ隊長デシテ朝鮮征伐ノ原因ニテ朝鮮征伐

ヲ西郷ガ爲サントスルチ中間ニツイテルモノガ中止ニシテシマフタ故

ニ怒リマシタノデス

問 日清戰爭ノ原因ハ如何

答 アレハ………日露戰爭日清戰爭ハ知ラヌ

問 結果ハドーナツタ

答 日本ガ勝テ罰金ヲトリ臺灣ヲトリタリ

問 其時談判ニ來タハ人誰カ

答 李鴻章

問 北清事件ノ原因ハ如何

答 各國聯合テ攻タト云フコトハ聞テ居タガ原因ハ知リマセン

問 日露戰爭ノ原因ハ如何

答 之レハ露國ノ皇太子殿下ヲ我………何トカト云フ人が仕損ヒチシテ

切リツケタカト記憶セリ

問 ソレカラ問モナク戰爭セシカ

答 ソレハ記憶セズ

問 其時ノ陸軍大將ノ名ハ

答 露西亞ハ、ステツセル、クロバトキン、日本ハ大山、乃木、兒玉ハ居

リシカ明ナラズ

問 此時石川縣ノ兵ハ何處ニ行キシカ

答 重ニ旅順

問 大將ハ誰ナリシカ

答 大將ハ大島義昌

問 海軍ハ

答 東郷、上村

問 露西亞ノ方ハ

答 海軍ノ大將デスカ記憶セズ

問 日露戰爭ノ結果ハ如何ニナリシカ

答 日本ガ勝テ旅順ヲ租借地ニシ樺太ヲ半分取り罰金ヲトリタリ何程カラ

カラヌ

問 朝鮮チ如何セシカ

答 朝鮮チ屬國ニセリ

問 初メヨリ屬國ニセシヤ

答 初メハ朝鮮ノ天皇チ………オボエマセヌ

問 菅公ガ太宰府ニテ御賜ノ御衣ヲ拜スル圖ヲ示シ其圖解チセシムルニ

答 此畫ハ菅原道真ノ太宰府ニテ天皇陛下ヨリ頂戴セル衣ヲ尊敬スル

問 何ノ爲メニ太宰府ヘ行キシカ

答 ……ア—ツカリマシタ平ノ時平(待ツテ下サイ)平ノ…ソ—カモ知レ

又右大臣左大臣ニナリシトキニ譏言ヲサレマシタ

問 本能寺ノ合戦ノ圖解

答 ツカリマシタ之レハ本能寺デス、本能寺デスカラ織田信長ヲ明智光秀

ガ攻メニ來タ繪ナリ

問 小キ小供ハ何カ、槍ヲ持チテホル

答 牛若丸カ、待ツテ下サイ藤蘭丸カ

問 平ノ重盛ハ何チナセシカ

答 忠臣ナリ、孝ナラントセバ忠ナラズ忠ナラントセバ孝ナラスト云ヒタ

リ

問 重盛ノ親ハ

答 清盛ナリ

問 川中島ノ合戦ノ圖解

答 武田信玄ト上杉謙義(信)トノ戦ナリ

問 戦ハ何ノ爲メニオコリシヤ

答 戦國デ義理ニ頼マレテシタノテ誰ニ頼マレタカ知ラヌ

問 西南戦争、白虎隊ノ圖解

答 之レハ西南戦争ニテ白虎隊ガ…

問 白虎隊トハ何カ

答 會津藩デス

問 何シテホルカ

答 切腹スル所ナリ

宗教的觀念ノ検査

問 汝ノ宗教ノ開山ハ

答 親鸞

問 何處ノ人カ

答 藤原家ニテ京都ノ人ナリ

問 盆會トハ何ノ事カ

答 盆ヤ正月ト云フコトアリマスネ盆マイリト云フツカリマセヌ

問 涅槃トハ何事ナルカ

答 寂滅サレタ日ナリ

問 何人カ

答 釋尊カ

問 釋尊ハ何地テ生レタカ

答 印度ノ菩提樹下デ

國家的觀念ノ調査

問 先帝陛下ノ御名ハ

答 明治天皇サンデスカ睦オホエナン

問 崩御セラレシハ

答 一昨年デスカ何月カ覺エヌ暑イ時ト思フ

問 今上天皇陛下ノ天長節ハ何日カ

答 今上天皇陛下ノ天長節ハ十月三十日カ

問 本統ニ御生レノ日ハ

答 オホエマセヌ八月……

問 徴兵ハ滿何歳カ

答 二十一歳デス

問 アル一定ノ學校ニ在レバ猶豫アリ何年迄カ

答 今ハ變リシガ前ハ二十八歳迄ナリ

問 議員ニハ如何ナル種類アルカ

答 衆議員、元老員、村會議員、郡會議員、縣會議員、國會議員アリ

問 黨派ニハ如何ナモノアリヤ

答 國民黨、政友派、中立黨等

問 政友派ノ親玉ハ

答 ……オホエマセヌ

問 國民黨ノ親玉ハ

答 知リマセヌ

問 犬養ハ何レノ親玉ナリヤ

答 政友派デシヨ

問 中立派ハ

答 オホエマセヌ

問 其他ニ首領アリヤ

答 ……答ナシ

問 現今ノ總理大臣ハ

答 桂サンガ死ンテ西園寺カ(大隈)

問 同志會ト云フモノナキカ

答 アル様ニ考ヘル同志社ハ知テオタル同志會……

問 社會黨トハ何カ

答 自分我流ノ意見ヲ述ヘルモノナリ、社會ニ立ツ人が皆社會黨ナリ

問 外國ノ天子ノ名ヲ知レリヤ

答 米國大統領長キ名ダガオホヘヌ、英國ハシラヌ

道德的觀念ニ就キテ

問 幸福トハ何ト云フコトカ

答 一家ノ平和ハ幸福ナリ

問 慈善トハ

答 施スナリ、食乏人バカリニアラズ、國家ニ對シテモ施スナリ

問 權利トハ如何ナルコトカ

答 自分ノ職權ナリ

問 義務ハ

答 自分ノ爲ネバナラヌコトヲ云フ

問 吝嗇ト節儉トハ如何ナル區別アリヤ

答 一寸判斷ガ出來ヌ、人カラ「コスク」云フコト、吝嗇儉約ト吝嗇トハ一

寸ワカラヌ、吝嗇トハ自分ニホドコスト云フコトヲセヌ、儉約ハ我身

ガ贅澤ヲセヌコトナリ

透ニ下ノ計算ヲナサシムルニ

15 + 27 = …………… 42 (E)

42 + 35 = …………… 77 (E)

77 + 58 = …………… 130 (ウカラズ)

27 × 5 135 (正)

135 × 4 530 (540)

100 ヲリ 7 ナ漸次減スルハ如何

100 — 983 980 一四 邊ツタ 100 — 93 — 86 — 7 9

— 72 — 6 5 58 — 51 4 4 — 37 — 30 — 23 — 16

— 9 — 3 2 ナリ

教育ハ中學程度二年ノ程度ヲ踏メル者トシテハアマリニ智識ノ内容貧弱ニシテ常識ヲ欠キ殊ニ自家専門ノ宗旨上ノ智識少ナク彼岸ガ何月何日ナルヤ盆會ハ何ノ意味カ知ラズ且計算ニ至リテハ稍複雑セル加算及一位ノ乘算スラ出來ズ尙百ヨリ七ヲ漸次減セシムルニ暗算甚ダ遅徐ニシテ既ニ第三回目ニ於テ違算シ七十二ヨリ七ヲ減スル時甚ダオソク辛シテ六十……五ト答フ之レ記憶惡ク理解力惡シキニ基因ス

現在症概畧ヲ摘録セバ被告透ハ

体格營養不良ニテ全身貧血衰弱ノ狀ニ見ユ身体ハ右肺炎加多兒ノ外格別ノ疾病ナシサレドモ肘反射膝蓋腿反射ハ甚ダシク亢進シ血管内ノ壓力(血壓)ハ通常健康人ヨリ甚ダ下降ス即チ神經衰弱症ノ特徴ヲ有ス大正三年三月金澤病院神經科ニテ鑑定人ガ見タル時ト殆ト同様ナルモ目下ハ神經衰弱ノ程度進ミアルガ如シ之レ何ニヨリテ斯ク云フニ腿反射ノ機能ガ亢進セルニヨリテ知ルチ得バナリ反射機能ハ常ニ腦ヨリ一定度迄抑制セララル、作用アリ然ルニ腦ニ疾病アリテ此抑制作用ガ制止セララル、カ又ハ腦ノ神經細胞ガ衰弱シテ又抑制作用カ減スルトキハ又反射機能ハ己ノ機能ヲ遲マシクシテ亢進スルナリ

而シテ透ノ精神狀態ヲ檢スルニ自己ノ存在スル場所ヲ認識シ得レバ時日ヲ明確ニ認識セズ之レ神經衰弱ノ爲メニ健忘症ニ罹リ時日ヲ領解シ居ラサル故ナリ記憶力ヲ檢スルニ記憶ハ概シテ不良ナルモ殊ニ些々タル原因ニヨリテ精神ハ異常ニ亢奮シ時トシテハ錯亂ノ狀トナル時ニ於テハ其當時ノ事件ヲ少シモ記憶セズ例ハ結婚後間モナク某所へ法事ヲ務メニ行キタルトキ歸リテ「死×ハズノ僧ガマダ死ナズニオルヤ」ト云ヒタル故トテ逃去セシト又七月二十七日傘子不在中自ラ喉ヲ突キタルコト又其時治療セラレタルヤ否ヤ又何品ヲ以テ突キタルヤチ記憶セズ從テ當時ト雖モ自ラ何ガ爲メニ喉ヲツキタルヤ透自己サヘモ理解ニ苦シムナリ尙其後最近一ヶ月以内ノ記憶モ即チ祖母死シテヨリ以後ノ事モ殆ド記憶ニ存セズ偶々記憶アルガ如キモ之レ等ハ兇行ニ關シテ種々ノ尋問ヲ受ケタルニヨリ之レヲ推察シテ得タル概念ヲ事實ト誤リ其間ニ對シテ返答セルナリ尙透ガ衆子、繼母、伴僧○○○ニ對シテ惡感情ヲ抱キガラサリシヤチ檢スルニ平素ハ衆子ニ對シテハ別段嫉妬心ナク精神亢奮ノ時ニ情死ヲ迫リシトハ云ヘ平素ヨリ自分ガ死スル時ニハ一所ニ死スルト云フ様ナ氣ハナカリシガ如シ繼母ニ對シテハ別段不滿ノ念慮モナカリシガ多少遠慮シ居リ且性因循ニテ猜疑心強キ爲メニ繼母ト伴僧トガ己ヲ廢嫡スルトノ誤解ヲ抱キシコトナキニシモアラズ教育ニ關シテハ中學程度二學年級ヲ卒ヘタルモノトシテハ内容貧弱ナリ歴史的觀念ハ稍アルモ地理的動植物的ノ觀念少ナシ自分ガ專門トシテ最モ記憶シオラザルベカラザル宗教上ノ智識ハ欠損シ通常人ト雖モ知り居ル彼岸ガ何月何日ナルカ又如何ナル日ナルカ、盆會トハ如何ナル事ヲ意味スルカチ知ラズ且計算殊ニ暗算等ニ至リテハ稍複雑セル加算及乘算モ甚ダ困難ニ

テ答フル迄ニ時間ヲ要シ然モ正答ヲ得ズ百ヨリ漸次七ヲ減セシムルニ既ニ
 第三回目ニ於テ頭内混亂ノ狀見エ漸クニシテ六十五ヲ答フルヲ得タリ即チ
 第二回目ニ於テノ答七十二ヲ記憶シタル事ヲ得ズ再ビ後ニ戻リテ百ヨリ七
 ナ減シ又七ヲ減シテ七十二ヲ得又ク返シ同様ノ事ヲ反覆シタルノミナリ

第四章 說 明

上記セル既往ノ事歴ト現在ノ狀態トヲ總括シテ考フルニ被告眞田透ノ實父
 完應ハ先天的ニ外斜視アリ實父ノ兄ハ時々飲酒三合計リテ傾ケ腦充血ニテ
 急死セリ實母ハ身体虛弱ニシテ肺結核ノ爲ニ約三十歳ニシテ死亡シ母方ノ
 祖母ノ第一人目下七十二歳ニシテ健存スルモ其二十三歳ノ時ニ精神病ニ
 罹リタルコトアリタリト云フヲ以テ見レバ被告ハ一方ニハ母ノ肺結核ノ爲
 メニ身体ヲ虛弱ナラシムベキ遺傳ヲ有シ他方ニハ母方ノ傍系ニ精神病ノ父
 方ノ傍系ニ腦充血ノ遺傳アリ且ツ實父ノ精神狀態ニ異常ナキモ其身体上ニ
 ハ先天的ニ外斜視ノ如キ所謂變質シタル徵候アリ故ニ被告透ハ身体病(肺
 結核。腦病。腦充血)。精神病ノ輕度ノ遺傳ヲ有スルモノト謂ヒ得ベシ
 加之被告ハ生來ノ性質、正直ナルモ因循ニシテ小心。人ノ集ル所へ出レコ
 トヲ好マズ何事ニモ疑深クシテ心配シ易ク短氣我儘ニシテ、腹立テ易ク堪
 忍心ニ乏シ。物事ニ輕卒ニシテ驚キ易キ方ナリ且ツ家族及友人間ニ吃吶者
 ナカリシモ被告ハ十一歳頃ヨリ吃吶ノ習慣ヲ生ヅタリ又生來ニ脱腸ヲ有セ
 リ即チ被告ノ性質ハ生來ニ變質セルモノト云フベシ。故ニ被告ハ變質的ノ
 遺傳ヲ受ケ自己モ生來ニ身体的並ニ精神的ニ變質徵候ヲ具ヘタリ被告ノ實
 母ハ肺結核ニヨリテ斃レ被告ノ身体ハ生來薄弱ニシテ殆ド藥攻メニ養育
 セラレ幼時夜間ニハ所謂疳ガ出テ夜啼ノ習慣アリタリ十六歳ニシテ眞宗中

學校ニ入ルヤ常ニ腦ノ工合悪シク且機械体操中ニ誤テ外傷ヲ受ケ且ツ神經
 衰弱症トシテ校醫ニ治療ヲ受ケツ、授業ヲ受ケ居タリ且ツ在學中ニ時ニハ
 卒倒シタルコトモアリ二十歳ノ時ニ脱腸ノ手術ヲ受ケタリ

徵兵検査ニハ眼疾ト身軀ノ薄弱ナリシ爲メ不合格トナリ其後ハ神經衰弱症
 ノ爲メニ學業ヲ廢シ保養旁ラ父ヲ助ケ家業ニ從事シ居リタリ。故ニ被告ノ
 身体ハ生來虛弱タリシナリ

被告ノ生活史ヲ見ルニ小學時代ヨリ其學蹟不良ニシテ殊ニ數學及暗記ヲ要
 スル學科ヲ好マズ運動及ビ繪畫ノ如キ手足ノ技巧ヲ好ミ一度落第シ後チ中
 學校ニ入學セルモ成績益々不良ニシテ殊ニ數學ニ至リテハ著シク劣等ニシ
 テ且ツ自己ノ専門タル宗教的學科ニモ充分ニ之ヲ理解スルノ能力ヲ缺キ在
 學スルコト四年ニシテ二回落第シ終ニハ中途退學セザルヲ得ザルニ至レリ
 要スルニ其智識ハ總テノ方面ニ愚鈍ニシテ被告ノ精神ハ小學時代ヨリ既ニ
 低能ノ狀況ニアタルコトヲ知ルニ足ルナリ故ニ被告ハ父母系ヨリ變質的遺
 傳ヲ受ケ自己モ變質シ之ニ加フルニ低能タリシナリ

要スルニ被告ハ生來身体薄弱ニシテ十六歳中學ニ入ルヤ神經衰弱症ヲ起シ
 身体的ニハ脱腸。神經的ニハ吃吶。精神的ニハ小心。猜疑心。短氣。我儘。
 輕卒ノ如キ變質シタル徵候アリ小學時代ヨリ常ニ學業ノ成績總テノ方面ニ
 不良ニシテ爲メニ中途退學セリ

斯ノ如ク被告ハ生來低能ナリシニ加フルニ中學ニ入ルニ及ビ機械体操中誤
 ツテ頭部ヲ外傷シ且ツ不適當ナル腦ヲ以テ數學等ヲ無理ニ勉學セザルヲ得
 ザリシニヨリテ頭重。頭痛。頭内朧朦感。全身倦怠。睡眠不良。心臟ノ鼓
 動増加。健忘症等ヲ發スルニ至リタルハ生來ノ精神發育不良即チ低能ニ加

フルニ神經衰弱症ヲ繼發シタルモノナリ

被告ハ自己ニ神經衰弱症アルヲ自覺シ之ヲ全治セシメントシテ常ニ苦慮シ種々ノ方法ヲ講ジテ醫療ニ努力セシモ其病症ハ少シモ消散スルコトナカリキ是レ被告ノ腦症ハ單純ニ勉學ノ過勞ニヨリテ來リシモノニ非ラズシテ其精神ガ生來ニ變質スルガ故ナリ

廢學後ニ歸郷シ家ニアリテ家業ヲ助ケ今ヤ社會ノ一員トシテ伍スルニ至ルヤ其低能ナルノ故ヲ以テ完全ニ家業ヲ相繼スルヲ得ルヤ否ヤニ就テ甚ダシク苦慮シ而カモ自ラハ之ヲ解決スルノ能力ナクシテ徒ラニ煩悶スルノミニナリキ

本年五月結婚スルヤ更ニ獨立シテ社會ニ活動セザルベカラザルヲ自覺スルニ及ビ諸般ノ問題ハ益々變質セル被告ノ頭腦ヲ刺戟シ之ヲ解決セントスルバスル程煩悶ヲ増加シ大正三年二月二十五日桑子ト結婚後二三日ニシテ某所ニ佛事ヲ營ミ歸宅後其妻ニ向ヒ『死ンダ噂ノアツタ坊主ガ死ナズニマダ生キテ居ルノカト門徒ガ云フテ居ツタ』ト言ヒ或時ハ『已レハ世人ニ信用ガナイカラ死ヌルニツキ御前(妻)モ一所ニ死ンデ呉レ』ト情死ヲ迫マルニ至リシコトモアリ此疑心ハ爾後益々發達シテ固着シ終ニハ妄想的ニ化生スルニ至レリ或ハ『已レハ門徒ニ信用ナク此寺ノ住職ガ出來ナイカラ何處カへ出發スル故御前(妻)モ其用意ヲセヨ』等ト言フニ至レリ

被告ハ自己ノ低能ヲ自覺シ桑子ト結婚後モ其妻ガ自己ノ低能ヲ嫌ヒテ離縁スルニ非ズヤトノ疑心ヲ起シ大正三年四月十五日ヨリ桑子ガ三日間實家ニ歸郷シタル際ニハ別狀ナカリシガ全年七月中旬妻ガ再度歸郷スルヤ再ビ被告方ニ歸宅セザルニ非ズヤト煩悶シテ土藏内ニテ自殺ナ企テ鑿ヲ以テ自ら

喉頭部ヲツキ貫傷セリ然レニ妻ノ明日歸宅スルト聞クヤ双手ヲ擧ゲテ喜ビ其歸宅後ニハ鬱憂ノ様子ナカリシト云フ

被告透ハ生來ニ身体的。神經的。並ニ精神的ニ變質症狀ヲ具備セル輕度ノ精神低能者ニシテ中學ニ進ムニ及ビテ其上ニ神經衰弱症ヲ繼發シタリ然レニ兇行前一ヶ月間ハ被告ハ其妻及弟ト共ニ祖母ノ病氣ヲ晝夜交代シテ熱心ニ看護シ睡眠ノ不足セル爲メ大正三年十月二十五日祖母ノ死亡後被告ノ低能兼神經衰弱症ハ増惡シテ舉動著シク不安トナリ精神鬱憂シテ悲哀ニ沈ミ十月二十七日亡祖母ノ湯棺ノ時他ノ僧侶ト列席シテ讀經ノ中ニモ獨リ被告ハ讀經セズ單ニ首ヲ傾ケテ居リタリト云フ其後夜間モ安眠セズ全町内ノ者ガ被告ヲ演ヘ連レ行キテ被告ヲ燒キ殺スト云フテ居ルカラ安心スル能ハズ何處ヘ力出奔セント企テ或ハ被告ガ燒キ殺サル、ニ非ザレバ家族一同ガ燒キ殺サル、ニ至ルベシト妻ニ告ゲタリ或ハ家族ガ警察ヘ拘引セラルベシ或ハ被告ガ出奔スレバ家族ノ命ハ救カルベシナド弟ニ告ゲ弟ハ其事實ナラザルベキナ如何ニ説明スルモ之ヲ理解スルコト能ハズ所謂精神錯亂ノ狀ヲ呈スルニ至リタリ要スルニ被告ハ生來ノ精神低能ガ中學ニ入りテ神經衰弱症ヲ發シ廢學後家ニ歸リテ僧侶トナリ家業ニ從事セシモ自己ノ低能ヲ自覺シ門徒ガ自己ヲ廢嫡センコトヲ憂ヘ桑子ト結婚スルヤ妻ガ自己ノ不甲斐ナキヲ觀破シテ離縁センコトヲ疑ヒ祖母ノ病ヲ看護シテ身心ヲ過勞シ而カモ祖母ノ死亡スルニ及ビ被告ノ精神ハ大ナル打擊ヲ受ケ此等ノ原因ニヨリテ益々煩悶セルモ生來低能ニシテ神經衰弱ヲ兼ねタル被告ノ精神ニテハ此煩悶及疑惑ヲ適當ニ解決スルコト能ハズ益々煩悶シテ益々錯亂シ終ニハ鬱憂病ニ陥リタルナリ

此ノ精神錯亂。煩悶。鬱憂ハ大正三年十月三十日(兇行前日)ニ至ルヤ益々増悪シ晝間ハ鏈ヲ所持セルニヨリ其理由ヲ質セシニ「家内ガ他人カラ全滅スルヨリモ自分ヲ殺ス。母カラ殺サン」ト口走り或ハ町外ニ出奔シテ家族ニ伴レ歸ラレ夜間モ安眠セズ寢タカト思ヘバ間モナク飛ビ起キテ「只今ヨシテ居ラレナイ町ノ住民ガ自分ヲ燒キ殺スト云フテ居ルカラ生キテ居ラ焼キ殺サル、ハサゾアツイコトダロウ」ト云ヒ「ソレデハ外へ出奔セン」ト云ヘバ又「時間ガ早イ」ト云フテ再ヒ床ノ中ニ入り寢室ノアル二階ヨリ階下へ降りテハ再ビ昇リ歸リ斯ルコト七八回モ反覆シ或ハ「今盗人ガ這入りテ御前妻」ノ衣服ヲ盜ミ行キ下ニ一枚棄テ、アリタリ」等ヲ錯亂シテ兇行前夜ヲ徹シタリ

大正三年十一月一日兇行當日午前五時頃被告ハ起キ出テ母ノ臥床ニ近ヅキ次ノ室ニアリタル綿ヲ指シテ人物ト見誤リ透ハ「ソコニ坐ツテ居ル御方ニ御案内シマセウカ」ト言ヒ又父ノ就眠中其枕元へ行キ「之ニテ御暇ヲ歎キマス」ト告グ午前八時頃母ガ「腕豆餅及柿ヲ食ベヌカ」トテ被告ヲ通リカ、リシ被告ニ言ヒカケタルモ聞キ取ラザリシ様子ナリト云フ午前中ハ大工ノ仕事シツ、アリシ本堂へ二回モ來リテ「父ハトド」焼キ殺サレテ仕舞ツタカラ斯ウシテ居ラレヌ」ト告グ後チ爐邊ニ來ルヤ弟ガ柿ヲ被告ニ與ヘントセシニ「父ガ燒キ殺サレタニ左様ナ柿ナドヲ食フテ居ルコトガ出來ルモノカ」ト言ヒ金鏈ニテ柿ヲ打タントセリ之ヨリ自室ニ歸リ遺書二通ヲ認メタルモ亂筆ニシテ文字。字句。ニ著シキ間違アリ片假名ト平假名トヲ混用シ其文意モ明瞭ナラズ警察署ヲ「警察置」ト誤書シ自己ガ廢嫡セラレンコトヲ特筆セルモノ、如キモ更ニ其要領ヲ得ザルナリ。午前十時頃ニハ「剃刀

ガナイカ。何處へ行ツタカ。寧ロヤツツケテ仕舞フオカ」ト獨語シ乍ラ本堂へ來リ丁度來リ合ハセタル妻ヲ見ルヤ直チニ其處ニ在リ合セタル大工用ノ斧ヲ取り上ゲ之ヲ以テ妻ノ頂部ニ切り付ケタルモノニシテ此ノ時ニアリテハ被告ノ精神狀態ハ鬱憂。煩悶。錯亂ノ頂點ニ達シ。全ク正當ナル判斷力ヲ缺キ。是非ノ辨別力悉ク消失シ得ベキ程度ニアリタルコトヲ想像シ得ルナリ。斯ク當時被告ノ精神ハ所謂臆狀態ニアリタルヲ以テ余等鑑定人ノ検査時ニアリテハ百方手ヲ盡シテ當時ノ狀況ヲ尋問スルモ被告ノ記憶スル所甚ダシク淺薄ナルヲ見ルナリ

今被告現在ノ身軀ヲ検査スルニ其外表ニ異狀ナク。血液ノ血管内ヲ流動スル壓力ハ水銀柱ハ〇「ミリメートル」ニシテ普通健康者ノ百二十「ミリメートル」ヨリモ遙ニ低壓ナリ。是レ被告ハ現時神經衰弱症ニ罹リツ、アルヲ以テナリ胸部及腹部ノ内臓ニ異常ナシ

現在ノ精神的狀況ヲ檢スルニ。今ヤ意識全ク明瞭ニシテ病的ノ感覺及ヒ妄想共ニ消失シ。顔面ノ表情通常ニシテ動作ハ落付キテ秩序アリ。唯ダ談話スルニ吃啞著シクシテ屢々其要領ヲ解スルニ苦シムコトアリ。目下尙ホ存在スル自己ノ神經異常即チ神經衰弱症ニ對スル感覺ハ正常ニシテ著シキ判斷力ノ障礙ナシ。

記憶力。自己ノ存在スル場所ヲ知レモ記憶力ノ不良ナル爲メ検査日ノ何日ナリヤチ明確ニ認識セズ。小學校及中學校時代ノ記憶力ニ著變ナシ。然ルニ大正三年二月乘子ト結婚後ハ煩悶ノ爲メ神經衰弱症ノ増悪シタル爲メ結婚後時々言ヒ或ハ行ヒタル異常ノ狀況ニ就テハ記憶甚ダシク不良トナルルヲ見ルナリ結婚後暫クニシテ或所ヘ法事ニ行キ歸宅後ニ「門徒ガ死ヌ答

ノ坊主ガ死ナズニ居ル』ト告ゲタルコトヲ忘レ。爲メニ煩悶ノ結果飄然トシテ外出シテ濱ニ行キシモ狐ガ鳴キテ淋シトテ家族ニ伴ハレテ歸宅セルコトモ全く忘却シ妻ニ情死ヲ迫リシコトモナシト云ヒ七月妻ガ五十日間程實家ニ歸郷中ニ妻ガ自己ノ不甲斐ナキニ呆レテ歸宅セザルニ非ズヤト疑ヒ土藏内ニテ鑿ニテ自殺センコトヲ企テシ當時ノ狀況ヲ詳ニセズ。十一月二十五日祖母ノ死亡セシ時日ヲ記憶スルモ他ノ僧侶ト共ニ讀經スルコト能ハザリシコトヲ記セズ。更ニ進ンテ兇行當日ニ於ケル記憶ハ一層不明瞭ニシテ前夜盜人ノ侵入シタリト言ヒシコト。遺書ニ通テ認メシコト。剃刀ハ何處ニアリヤト尋ネ廻リタルコト。妻ヲ殺害セントセシ當時ノ狀況。如何ナル兇器ナリシヤ。兇行後ノ狀況。被告ヲ取押ヘントシタル大工ヲ傷ケシコト。等ヲ殆ンド完全ニ忘却スルヲ知ルナリ。

智識ノ程度ヲ檢スルニ被告ハ中學ニ四ケ年間在學セリト云フモ教育勸語ヲ忘却シ。冬至。彼岸ノ何物タルヲ知ラズ試ミニ書籍ノ一篇ヲ讀マシムルニ「資スル」ヲ讀ムコト能ハズ且ツ全体ノ意味ヲ理解セズ。更ニ地理的智識ヲ檢スルニ石川縣下ノ大ナル川ハ淺野川ト云ヒテ手取川ヲ知ラズ。日本ノ三景ハ天ノ橋立、周防ノ錦帶橋ナリト云ヒ。世界的智識トシテハ紐育ハ何國ニアリヤ。獨逸國ノ首府名ヲ知ラズ。歴史の智識トシテハ賴山陽ガ十八史畧ヲ書キタリト答ヘ。西南役ノ年代ヲ知ラズ。日清。日露戰爭ノ原因ヲ知ラズ。其智識ノ内容一般ニ貧弱ニシテ常識ニ乏シク自己専門ノ宗旨上ノ智識淺ク彼岸ガ何月何日ナリヤ盆會ハ何ノ意味ナルヤヲ理解セズ且ツ計算殊ニ暗算ニ至リテハ甚ダ拙劣ニシテ百ヨリ漸次七ヲ減セシムルニ既ニ第三回日ヨリ頭内混亂シ要スルニ現時被告ハ中學ニ四ケ年間在學セル二十七歳ノ

僧侶トシテハ其智識甚ダ貧弱ニシテ而カモ斯ル學識ノ不良ナルハ小學時代ヨリ明ナリト云フヲ以テ見レバ生來ニ低能ナル者ト斷定スルヲ至當トス

第五章 結論

被告透ノ實父ハ先天的ニ外斜視アリ其兄ハ腦充血ニテ頓死シ實母ハ肺結核ニテ斃レ母方祖母ノ弟ハ一度精神病ニ罹リタリト云フヲ以テ見レバ被告ハ身体的(肺結核)。神經的(外斜視)。並ニ精神病的ノ三種ノ遺傳ヲ有スルモノトス

被告ハ其性質生來ニ普通人ト異リ固陋ニシテ猜疑心ニ富ミ短氣我儘ニシテ生來脱腸アリ十一歳ノ時ニ其言語ハ吃訥ヲ生ズルニ至レリ。故ニ被告自己モ身体的(脱腸)。神經的(吃訥)。精神的(性格異常)ノ三種ノ變質徵候ヲ有スル者ト謂フベシ

被告ノ身体ハ生來ニ虛弱ニシテ常ニ醫藥ヲ絶タズ此虛弱ハ現時ニ持續シツツアリ

被告ノ精神ハ其發育不良ニシテ小學時代ヨリ明トナリ中學ニ入ルヤ殊ニ數學等稍ヤ高尚ナル精神官能ヲ要スルモノ著シク不成蹟ニシテ爲メニ其低能ナル腦ハ中學ノ學業ニ適應セズ徒ラニ低級ノ腦ヲ刺戟過勞シテ頭痛不眠。健忘。全身倦怠等ノ如キ神經衰弱症ヲ繼發シ爲メニ中學ヲ中途退學セザルヲ得ザルニ至レリ。此ニ於テ生來ニ變質的遺傳ヲ有シ自己モ變質徵候ヲ具ヘ身体虛弱ニシテ精神ノ低能ナリシ被告透ハ中學ニ入りテ更ニ神經衰弱症ヲ加ヘタルナリ

廢學後ニ歸郷シテ僧侶トナリ今ヤ社會ノ一員トシテ伍スルニ至リタルモ其低能ナルノ故ヲ以テ完全ニ自己ノ職務ヲ遂行スルヲ能ハズ且ツ自己モ已レ

ノ低能ナルヲ自覺スルヲ以テ甚シク苦慮煩悶シ自己ハ其寺ノ長男ナルニヨリ門徒ガ已レノ無能ナルヲ觀破シテ自己ヲ廢嫡センコトヲ疑フニ至レリ

大正三年二月結婚スルヤ其責任ノ更ニ重キヲ加ヘタルヲ自覺シ諸般ノ問題ニ逢遇スル毎ニ變質低能ナル被告ノ腦ヲ刺戟シ之ヲ正當ニ解決セントスル

モ不可能ニシテ徒ラニ益々其煩悶ヲ増悪スルノミ且ツ妻ガ自己ノ無能ヲ悲觀シテ離縁センコトヲ窺ガニ憂ヘテ精神ハ稍ヤ錯亂セントシ爲メニ町内ノ

門徒住民ガ已レヲ燒キ殺サントシツ、アリト妄想シ偶々妻ガ實家ニ歸リテ

五十日間モ滞在スルヤ其再ビ歸宅スルヤ否ヤヲ憂ヒテ自殺ヲ謀ルニ至リタ

ルナリ

大正三年十月祖母ガ重病ニ陥リテ被告モ家族ト共ニ晝夜看護ニ從事シテ身心ヲ過勞シ睡眠モ充分ナラザリシヲ以テ稍ヤ錯亂ニ傾ケル被告ノ精神ハ更

ラニ衰弱シ殊ニ全月二十五日祖母ノ死亡スルヤ其精神的打撃ニヨリテ一層

世事ヲ悲觀シ煩悶ヲ増加シ精神ノ錯亂ヲ倍加スルニ至レリ。即チ其當時ニ

ハ被告ノ精神ハ生來ノ低能ト中學時代ノ神經衰弱症トノ外種々ノ悲觀的妄

想ヲ發生シテ此處ニ更ニ鬱憂病ニ罹リツ、アリタルナリ

大正三年十月三十日即チ兇行前日ヨリ此煩悶的鬱憂病ガ更ニ増悪シテ擧動

著シク不安トナリ三十日夜ニハ全ク不眠ナリシ爲メ一層其精神ヲ刺戟興奮

セシメタリ故ニ盜人ガ這入レリト言ヒ殊ニ三十一日兇行ノ當日朝ニハ綿ヲ

見テ人ト誤認シ本堂ノ方ニハ多數ノ大工來リテ仕事上ニ種々ノ音響ヲ發シ

テ煩悶混亂セル被告ノ精神ヲシテ更ニ一層錯亂セシメ被告ノ精神ハ衰弱。

鬱憂、煩悶、混亂、錯亂ノ頂點ニ達シテ朦朧狀態ニ陥リタルモノナリ。斯

ル狀況ノ精神ニアリテハ全ク正當ナル判斷力ヲ缺キ是非ノ辨別力ヲ失フニ

至ルモノト推測スルヲ正當トス

要スルニ被告透ハ先天的ニ父母系ヨリ種々ノ變質的遺傳ヲ受ケ爲ニ被告自

己モ生來身体ノ神經。精神上ニ變質徵候ヲ有シ生來身体虛弱ニシテ精神ノ

發育モ不完全ニ陥リ所謂低能兒ニシテ中學ニ入ルヤ低能ヨリ神經衰弱症ヲ

繼發シテ廢學シ歸宅後家業ヲ執ルニ及ビ其無能ヲ自覺シテ他人ガ自己ヲ排

斥センコトヲ恐レ結婚スルヤ妻ガ自己ノ無能ヲ見テ去ランコトヲ憂エテ稍

ヤ悲觀シテ鬱憂病ノ初徵ヲ萌シ終ニハ門徒及町ノ住民ガ已レヲ殺害センコ

トヲ妄想シテ鬱憂病ハ明トナリ兇行前一ヶ月ヨリ祖母ノ重患ト死亡トニヨ

リテ更ニ鬱憂セル精神ヲ刺戟シテ錯亂シ不眠ノ爲メ益々諸症ヲ増悪セシメ

テ大正三年十一月一日ノ兇行當日ニハ被告ノ精神錯亂ハ其頂點ニ達シ爲メ

ニ全然是非ノ判斷力ヲ失ヒ所謂心神喪失ノ狀況ニアリタル者ナリ

第六章 鑑定

前述ノ論據ニヨリテ鑑定ヲ下スコト左ノ如シ

一、目下被告負田透ノ心神ニ異常アリ

二、目下其心神異常ノ程度ハ輕度ノ心神耗弱者ナリトス

三、然レトモ大正三年十一月一日犯罪當時被告透ノ精神狀況ハ平素ノ心神

耗弱ノ狀況ヨリ一時増悪シテ心神喪失ノ狀況ニアリタルモノニシテ目下

ハ精神沈靜シ以テ平素ノ心神耗弱ノ當況ニ復舊シタルモノナリ

此鑑定ハ大正三年十一月十一日ヨリ全年十二月十日ニ至ル三十日間トス

大正三年十二月十日

鑑定人 松原三郎

石川精一